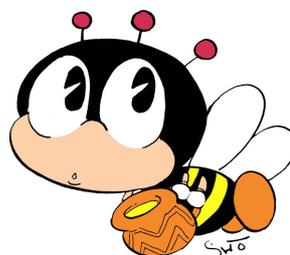


平成 27 年度

研究成果報告書



広島県立生涯学習センター

はじめに

広島県立生涯学習センターでは、市町支援を中心としたソフト面に機能を特化し、生涯学習振興・社会教育関係職員の専門性の向上や地域づくりを担う人材育成のための各種研修の実施、先導的なモデル事業の開発・実施、社会教育関係団体等との連携・協働などを大きな柱として、生涯学習の振興や社会教育の推進に取り組んできているところです。

こうした取組を進めていくに当たっては、県内の生涯学習・社会教育を推進する拠点施設としての自覚と責任を常に持ち、市町や社会教育関係団体等との連携において、当センターの支援や関わり等が有益なものであり、頼りになるものであることが重要であると考えています。

そのためには、社会教育に携わる職員としての専門性や技術力を向上させていくことが必要であることから、職員一人一人が所掌する業務の中で「より専門的に深めたいこと」や「課題としていることへの考察」等をテーマとして設定し、日常の職務の遂行を通じたOJTによる研究活動を進めてきました。

本報告書は、その研究成果をパワーポイント形式でまとめたものであり、次年度の取組に生かしていくこととしています。御一読いただき、忌憚のない御意見、御指導をいただければ幸いです。

今後とも、当センターは、県内の生涯学習振興・社会教育行政に関わる方々から信頼され、頼りにされる存在となるべく、引き続き研鑽を積み、その資質の向上に努めてまいります。

最後に、当センターの事業推進に御支援、御協力いただいている関係者の皆様と本研究の御指導をいただいた皆様に、心から感謝を申し上げます。

平成 28 年 3 月

広島県立生涯学習センター
所 長 服 部 哲 彰

目次

研究成果報告

- 1 県立生涯学習センターにおける業務連携システムの構築について
～23 市町の研修支援に対応するために～ 寺川 博人 . . . 1

- 2 住民の主体的な学びを支援するための「参加型学習」に関する
研修コンテンツ開発
～広島県立生涯学習センターの研修事業の改善・
開発に向けて～ 大名 克英 . . . 21

- 3 広島県の成人式
～心に残る成人式をめざして～ 内藤 遊 . . . 33

- 4 「『親の力』をまなびあう学習プログラム」中学・高校生など
の青少年に対応した新規教材について
～多様な場での活用法～ 里本 佳子 . . . 50

- 5 社会教育委員の役割と取組について
～社会教育委員の活動の活性化に向けて～ 柳川 明美 . . . 68

- 6 放課後子供教室と学校との連携について
～子供たちが生き生きと活動できる居場所づくりを
目指して～ 毛利 洋子 . . . 91

県立生涯学習センターにおける業務連携システムの構築について ～23 市町の研修支援に対応するために～

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 寺川 博人

調査研究の概要

本調査研究では、県内 23 市町が実施する研修の支援を限られた職員で行っていくためには、当センターにどのようなシステムが必要なのかということ調査分析し、当センターにおける業務連携システムの構築案を提示し、業務効率化の一助となるよう考察を行う。

行政組織では、職員は概ね 3 年から 4 年で部署を異動する。それに伴って、これまでに多くの経験を積み、培われてきた業務ノウハウの引き継ぎが必要となる。行政の世界では、職員が保有する業務ノウハウなどの知的資産の蓄積、可視化はまだ定着していない。様々な業務のマニュアルが必要だという考えはあっても、実際にマニュアルが作成されている業務は少ない。

これらのことは、当センターでも同じことが言える。現組織は、1 年目から 3 年目の職員で構成されており、概ね 3 年から 4 年の周期で職員が入れ替わる。この状況からも、どのようにして職員一人一人の持っている業務ノウハウを維持するかは喫緊の課題である。

現在、当センターでは、県内 23 市町を 3 つのグループに分け、それぞれに担当地域を割り当てて市町の研修支援を行っている。各グループを 2 名体制で担当し、それを総括する担当者 1 名を加えた計 7 名で実質対応していることになる。7～8 市町を 2 名の担当で対応していくことになるが、現在は基本的に市町からの要請に応える形をとっている。この 7～8 市町が同時期に支援を要請してくることはなく、何とか 2 名体制で対応できている。しかし、平成 28 年度からは、市町からの要請を待つだけでなく、積極的に市町に出かけて行き、支援する「訪問型研修」を実施していくこととしている。そして、この訪問型研修の実施に関わって、「対応できる人員が現状のまま、果たして今の体制で十分に対応できるのか」という疑問が浮上してきた。

そこで、第一に、当センター内にどんな情報やノウハウの蓄積、可視化のため業務連携システムがあれば十分な支援ができるのかということ考察する。第二に、そのシステムを使いながら、センター職員一人一人が勤務初年度から市町の多様な要望に対応し、業務が遂行できるようにしていくためのセンター内でのスキルアップ研修の内容とその運営の在り方についても検討し、今後の方向性を見出したい。これらは、様々な組織の業務連携に応用することができる可能性があり、多くの市町の業務連携の一助となるのではないかと考える。

調査研究の構成

テーマ設定の理由

- 1 地域課題対応研修支援の現状と課題
- 2 新市町活性化支援に必要な機能
- 3 新市町活性化支援のシステム化
- 4 業務連携システム案の提示
- 5 今後の方向性

参考文献

県立生涯学習センターにおける 業務連携システムの構築について

～23市町の研修支援に対応するために～

【目的】

県内23市町が実施する研修の支援を行っていく上で、限られた職員で対応していくためには、県立生涯学習センターにどのようなシステムが必要なのかということ調査分析し、当センターにおける業務連携システムの構築案を提示し、業務効率化の一助としたい。



広島県立生涯学習センター
社会教育主事 寺川 博人

テーマ設定の理由

当センターでは、県内23市町を3つのグループに分け、それぞれに担当地域を割り当てて市町の研修支援を行っている。各グループを2名体制で担当し、それを総括する担当者1名を加えた計7名で実質対応していることになる。

7～8市町を2名の担当者で対応していくこととなるが、現在は基本的に市町からの要請に応える形をとっているため、今のところ、この7～8市町が同時期に支援を要請してくることはなく、何とか2名体制で対応できている。

しかし、平成28年度からは、市町からの要請を待つだけでなく、積極的に市町に出かけて行き、支援をしていくこととしている。そうするときに、**現状の体制で十分に対応するためにはどうすればよいのか**を考えなくてはならなくなった。

そこで、センター内にどんなシステムがあれば十分な支援ができるのかということを検討することが必要となり、このテーマを設定することとした。

目次

1 現在の市町支援（地域課題対応研修支援）の現状と課題

2 平成28年度からの市町支援（訪問型研修）に必要な機能

3 訪問型研修のシステム化

4 業務連携システム案の提示

5 今後の方向性

参考文献

1 現在の市町支援（地域課題対応研修支援）の現状と課題

【現状】

（1）体制について

県内23市町を3つのグループに分け、2人1組で7～8市町を担当している。それに加え、総括担当を1名配置し、計7名の職員で担当している。

市町からの支援要請については、基本的にはそれぞれの担当者が対応する。

また、具体的な支援内容を検討する際には、これら7名に加え、生涯学習推進マネジャーから適宜専門的な知見をいただくとともに、所長、振興課長から指示を受けながらセンター全体で支援する体制をとっている。

1 現在の市町支援（地域課題対応研修支援）の現状と課題

(2)地域課題対応研修支援の概要

●対象の研修

- 1 市町の生涯学習振興・社会教育関係職員等を対象とした研修
- 2 市町における家庭・地域の教育力向上に関わるボランティア、コーディネーター等を対象とした研修

●支援の内容

- 1 研修の企画への指導・助言
 - ① 指導・助言の内容
研修プログラム(内容, 方法, 日程, 講師等)の作成
 - ② 指導・助言の方法
ア 電話, 電子メール
イ 市町職員が県センターに来所
ウ 県センター職員が市町を訪問
- 2 センター職員による研修における講師, グループワーク支援者等

1 現在の市町支援（地域課題対応研修支援）の現状と課題

(3)地域課題対応研修支援の流れ

- 1 市町の研修担当職員から県センターに相談

- 2 市町職員と県センター職員での協議

生涯学習推進マネージャー, 地域課題対応研修支援担当者(総括, 地域担当)
・市町職員から, 実施したい研修のあらまし(研修の対象者, 目的, ねらい, 日程等)を聴き, 県センター職員が指導・助言

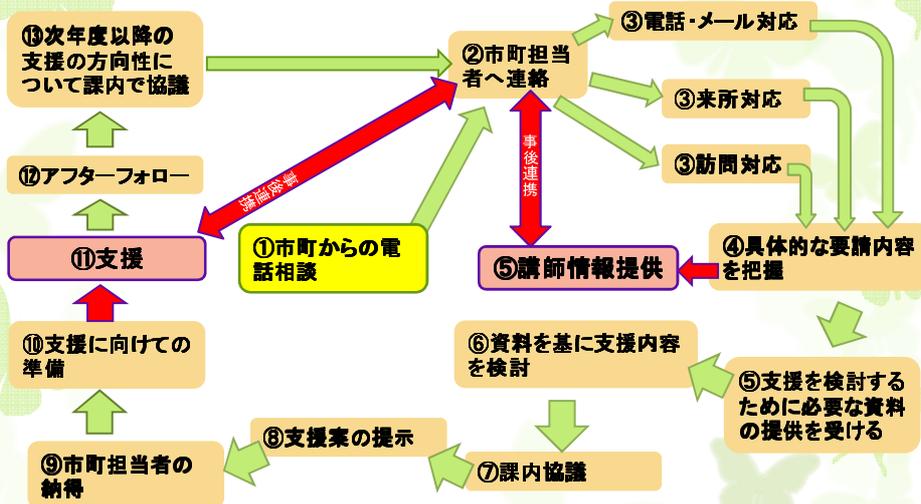
- 3 研修プログラム(案)に対し, 県センターからの助言・指導

- 4 研修プログラム作成

- 5 研修実施(必要に応じて, 県センター職員が講師等として支援)

1 現在の市町支援（地域課題対応研修支援）の現状と課題

地域課題対応研修支援の流れの図



1 現在の市町支援（地域課題対応研修支援）の現状と課題

(4)実施件数(広島県:全部で23市町)

年度	実施市町等数	主な対象
22	6市町	担当課職員, 公民館等職員, 社会教育指導員
23	5市町	公民館等職員, 社会教育指導員
24	12市町	担当課職員, 公民館等職員, 社会教育指導員
25	12市町	担当課職員, 公民館等職員, 社会教育指導員
26	11市町	担当課職員, 公民館等職員, 社会教育委員, 公民館運営審議会委員
計	延べ46件 21/23市町)	担当課職員, 公民館等職員, 社会教育指導員, 社会教育委員

1 現在の市町支援（地域課題対応研修支援）の現状と課題

【課題】

（1）連携の流れの不確立

どのように始め、どんな流れで支援が展開していくのか可視化できていない。

（2）既存職員頼り

前任者がいる場合は、引継ぎや相談もしやすいが、いない場合、既存職員に頼るところは大きい。紙媒体及びその電子データしか残っておらず、引き継いだ内容について分からないことが出てくる。細かい部分についてはどうしても既存職員に聞いて頼ることになる。

（3）支援内容に対応するためのスキル不足

他分野から異動してくる職員が多いため、支援に関わるスキル不足は否めないが、そのスキルを身に付けるための機会が少ない。

2 平成28年度からの市町支援（訪問型研修）に必要な機能

（1）課内連携の流れの可視化

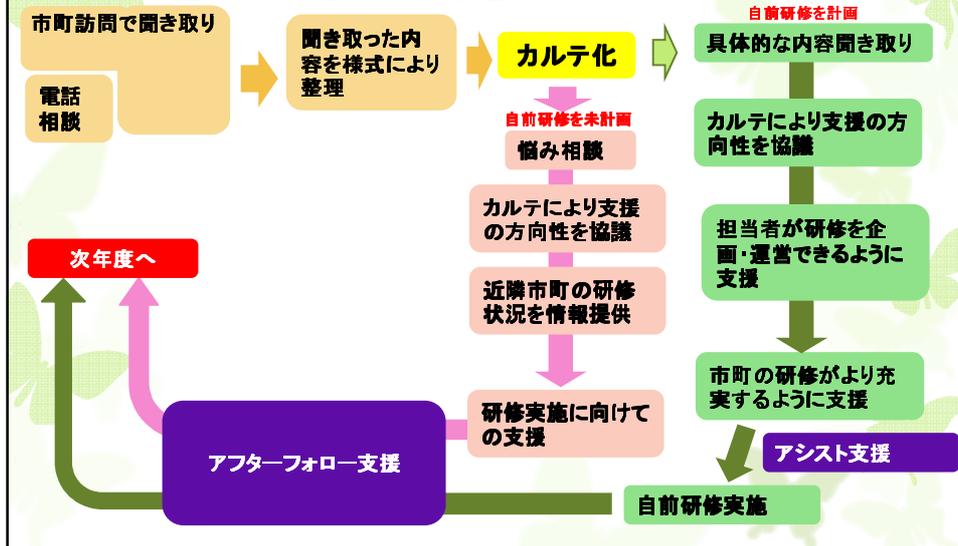
（2）連携システム

- ①様式の作成・準備
- ②電話対応マニュアル
- ③データ収集
- ④ケースのカルテ化
- ⑤課内協議

（3）対応するためのスキルアップ

2 平成28年度からの市町支援（訪問型研修）に必要な機能

（1）連携の流れの可視化



2 平成28年度からの市町支援（訪問型研修）に必要な機能

（2）連携システム

①様式の作成・準備

連携に必要な資料を作成するための様式を作成し、課内で共有を図りやすくする。

②電話対応マニュアル

誰が受電しても同じ内容が聞き取れるようにする。

ア受電日時

イ相手方（●），当方（○）

ウ相談内容

A：研修支援

あ テーマ

い 開催予定日時

う 対象者

え 内容・回数

お 講師

か 予算

B：講師情報提供

あ テーマ

い 開催予定日時

う 予算（県内，県外）

え 今後どのように関わるか

・どんな様子か聞く

・研修に参加させてもらう



課文書箱に聞き取りメモとして残し，所内で共有

③データ収集

基礎データとして，市町から次の情報を収集する。

- ・対象職員数
- ・必要と思う研修
- ・過去の研修実績

④ ケースのカルテ化

収集したデータを基に、各市町ごとに実態をカルテ化し、**強み**（十分できている研修，十分できている形態）と**弱み**（十分にできていない研修，十分にできていない形態）を分析



ケース別に整理

⑤ 課内協議

地域担当で聞き取り内容を整理



カルテ化



総括担当を加えて支援内容を協議



情報を共有



生涯学習推進マネージャーを含めて方向性を協議



課内会議で状況説明し，課内で共有

（3）対応するためのスキルアップ

【知識について】

- ①用語について
- ②基礎研修の内容
- ③学習プログラム研修の内容
- ④親プロの内容

【技能について】

- ①ワールドカフェ
- ②ファシリテーターとして
- ③参加を促す教育方法

課内研修の中で**スキルアップ研修**を実施する。

【知識に関わって】

①用語について

●シンポジウム

一般的なシンポジウムは、あるテーマについて、立場や意見の異なる専門家を数名呼び、進行役(司会・議長)のもと、参加者の前で公開討論会を行う。進み方としては、専門家がそれぞれ意見をのべる。その後専門家同士の質疑・応答をし、次に全体討論会(参加者からの質疑・応答)となり、最終的に進行役がまとめていく、というものの。

●パネルディスカッション

壇上で討論するのは、専門家ではなく、参加者と同じ立場の人です。この場合テーマが参加者に理解される場合のものが多く、また、論者をパネリスト・パネラーなどとも言う。

●カンファレンス

討論する。協議すること。いわゆる会議もカンファレンスといえます。シンポジウムと違う点は聴衆がないということです。

【知識に関わって】

②基礎研修の内容

●基本事項

- ・アイスブレイク
- ・用語の確認

●生涯学習振興・社会教育関係職員の役割

- ・コミュニケーション能力
- ・知っておきたいこと

社会教育とは

公民館とは

社会教育計画，総合計画とは
みなさんの職場は

【知識に関わって】

③学習プログラム研修の内容

●学習プログラムとは

●学習プログラムの開発について

●リデザインについて

●評価について

【知識に関わって】

④親プロの内容

- 親プロとは
- 親プロ教材について
- 親プロファシリテーター養成講座のコンテンツについて



【技能に関わって】

①ワールドカフェ

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考えに基づいた話し合いの手法。

- 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話を行う。
- 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる場の一体感を味わえる。
- メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、あたかも参加者全員が話し合っているような効果が得られる。
- 参加者数は12人から、1,000人以上でも実施可能。

【技能に関わって】

②ファシリテーターとして

ファシリテーターとは、会議やミーティングなど複数の人が集う場において、議事進行を務める人のこと。

中立な立場を守り、参加者の心の動きや状況を見ながら、プログラムを進行していく人。

段取り・進行・プログラムを鑑みながら、問題の解決や合意の形成に導く役割をする人。

スムーズな進行と、深い議論、参加者の意見を引き出す手腕が問われる。

課内研修で一人一回はやってみる。



出典：www.keiomcc.net

【技能に関わって】

②ファシリテーターとして

大きな3つの役割

- 1)話を聞きだす
- 2)話をまとめる
- 3)合意する



出典 gihyo.jp

出典：「ファシリテーターとは？」

身に付けたい5つのテクニック

- 1) 直接的な質問や要望をしながら発言を掘り下げていく
- 2) 目線、相槌、沈黙を使い、発言者の話を引き出す
- 3) わかりやすく言い換える
- 4) 発言の少ないメンバーを引き入れる
- 5) ファシリテーター自身の熱意を伝える

出典：人事解決.com「03-12. ファシリテーションの基本スキル」

【技能に関わって】

③KJ法について

日本の文化人類学者川喜田二郎氏(元東京工業大学教授)が考案した**創造性開発(または創造的問題解決)の技法**で、川喜田氏の頭文字をとって“KJ法”と名付けられています。

ブレン・ストーミングなどで出されたアイデアや意見、または各種の調査の現場から収集された雑多な情報を1枚ずつ小さなカード(紙キレ)に書き込み、それらのカードの中から近い感じのするもの同士を2、3枚ずつ集めてグループ化していき、それらを小グループから中グループ、大グループへと組み立てて図解していきます。こうした作業の中から、テーマの解決に役立つヒントやひらめきを生み出していこうとするものです。

出典:「能力開発技法データベース」

【技能に関わって】

③KJ法について

KJ法は、次のような使い方をすると**効果的**である。

- 1.問題の正体をはっきりしない時。それを明確化する。
- 2.問題はおもやしたままでもよいから、とにかく紙切れに書き出していく。
- 3.周辺情報を幅広く収集する。
- 4.カード化された情報は、バラバラなままディスプレイする。
- 5.バラバラなカード群の語りかけを素直な気持ちで聞き取っていく。
- 6.バラバラな情報群の中から、次第に紙切れたちが集まってきて、問題が**形成され、構造化されるように思考する。**
- 7.構造化された問題から解決策を考える。
- 8.グループで取り組むことによって、**衆知結集の効果や、チーム作りの効果を期待できる。**

出典:「能力開発技法データベース」

2 平成28年度からの市町支援（訪問型研修）に必要な機能

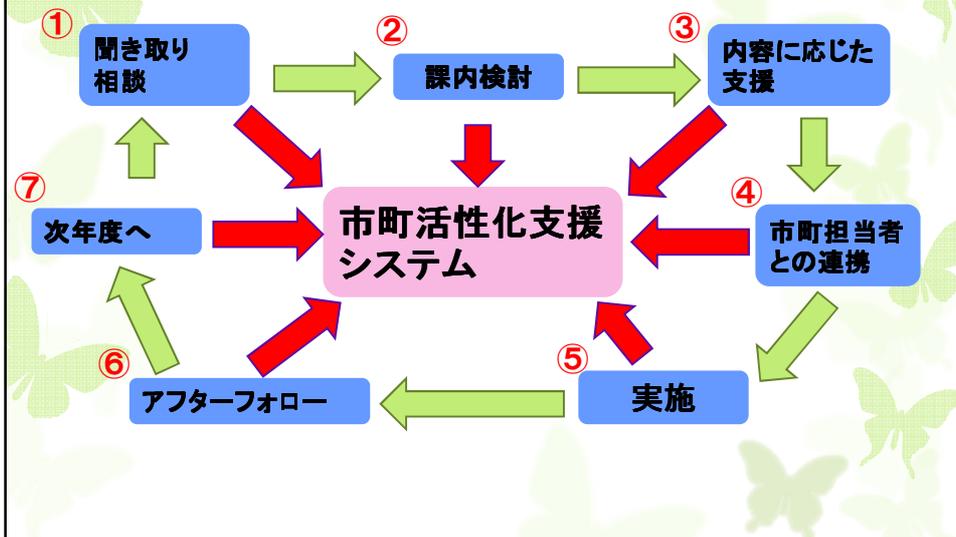
【技能に関わって】

④その他、参加を促す教育方法について

- ラベルワーク
- ランキング 等

3 訪問型研修のシステム化

(1) 訪問型研修のシステム図



3 訪問型研修のシステム化

システム化するという事は、**必要な機能をすぐに取り出して使えるようにする**ということ。そこで、具体的には次のような機能構成図を用いて簡単検索システムを開発し、機能を効率的に使えるようにする。

※システムとは・・・

個々の要素が有機的に組み合わせられたまとまりをもつ全体のこと。また、全体を統一する仕組みのこと。

3 訪問型研修のシステム化

(2) 効率的に機能を抽出するために

機能の抽出を効果的に行うために、機能構成図（DMM: Diamond Mandala Matrix）を用いる。機能図は、3行3列の格子様式を用い、業務連携システムの機能を階層的に分析し、業務連携システムの対象範囲を明らかにする。対象となる業務を格子様式の中央の升目に記載し、当該業務の機能を8種類に大別し、他の升目に記載する。これを階層0の機能構成図という。

(例) 階層0の機能構成図

1 フロー図	2 対応マニュアル	3 文書様式
8	市町研修支援	4 データ
7	スキルアップ	5 ケースカルテ

3 訪問型研修のシステム化

次に、階層0の機能構成図の各升目（中央の升目を除く）に記載された機能について、それぞれに最大8種類の機能に細分化し、階層0の機能構成図と同様の方法で、対象機能を中央の升目に、これを細分化した機能を他の升目に記載する。これを階層1の機能構成図という。

(階層0)

1 フロー図	2 対応マニュアル	3 文書様式
6	市町研修支援	4 データ
7	スキルアップ	5 ケースカルテ

(階層1)

3-1 電話対応	3-2 メール対応	3-3 研修支援報告書
3-6 ファシリテーター関係文書	3 文書様式	3-4 基礎研修関係文書
3-7 ワールドカフェ関係文書	3-6 「親プロ」ファシリテーター養成講座関係文書	3-5 学習プログラム研修関係文書

3 訪問型研修のシステム化

引き続き、階層1の機能構成図の各升目（中央の升目は除く）に記載された機能について、それぞれ更に最大8種類の機能に細分化し、前ページと同様の方法により、階層2の機能構成図を作成する。

このように、機能構成図を用いて機能の細分化を繰り返すことにより、業務連携システムの機能を階層的に抽出することができる。業務連携システムが有する機能の数は、当該業務連携システムの範囲等により異なり、階層の深さも異なってくるが、少なくとも階層2までの階層化を行うこととする（階層2の機能構成図を作成することにより、最大512種類の機能を抽出することができるようになる。）。

4 業務連携システム案の提示

(1) 業務連携システムの具体

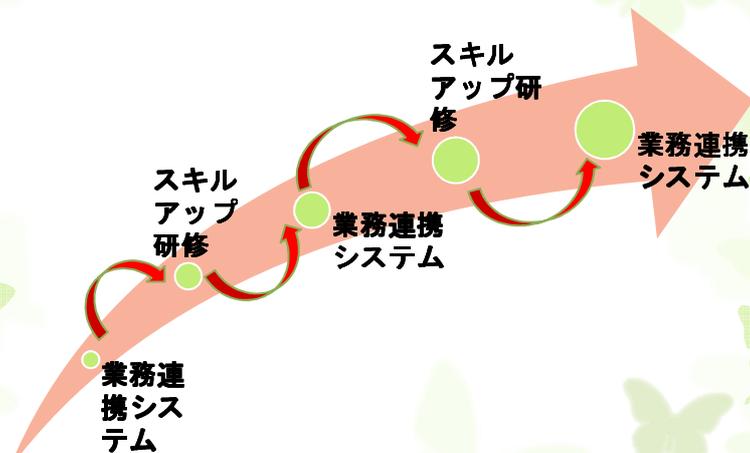
機能構成図をエクセルで作成し、リンクを貼って業務連携に必要なものを1つにまとめ、業務連携システム（**簡単検索システム**）とする。

1 フロー図	2 対応マニュアル	3 文書様式
8	市町研修支援	4 データ
7	スキルアップ	5 ケースカルテ

5 今後の方向性

【今後の方向性】

(1) システム化とスキルアップ研修のサイクル確立



5 今後の方向性

【今後の方向性】

(2) 当センター勤務初年度から対応できるように

業務連携システムを活用し、4月から少しずつスキルアップ研修を取り入れることで5月の市町訪問の頃には当センターの業務内容の全体像が見えているようにする。



既存職員に頼りすぎず、業務遂行ができるように！

5 今後の方向性

【あしがき】

これらのシステムは当センターの業務連携のために開発したものであるが、機能構成図（DMM）の部分を応用すれば、様々な組織の業務連携に応用することができる可能性がある。人員削減の潮流の中、多くの市町の業務連携の一助となると幸いである。

参考文献

- ① 「業務・システム最適化指針（ガイドライン）第5 別添」 総務省行政管理局
- ② 「生涯学習振興・社会教育関係職員等研修【基礎研修】」使用PPT資料
広島県立生涯学習センター
- ③ 「生涯学習振興・社会教育関係職員等研修【学習プログラム研修】」使用PPT資料
広島県立生涯学習センター
- ④ 「『親プロ』ファシリテーター養成講座【基礎講座】」使用PPT資料
広島県立生涯学習センター
- ⑤ 「『親の力』をまなびあう学習プログラム 学習のすすめかた」
広島県立生涯学習センター
- ⑥ 「業務引き継ぎの効率化～あなたの仕事、1週間で引継げますか？～」
ユニシス研究会 IT&ソリューション部会 2009年度「グループ研修活動報告書
（静岡グループ）」
- ⑦ 「校内研修アシストブック～新たな視点で、元気の出る研修を～」 長野県教育委員会
平成25年
- ⑧ 「キャリアステージメーカー チームで勝つための人材紹介システム」
株式会社ヒューマンシステム

参考文献

- ⑨ 「ワールド・カフェ～カフェ的会話が未来を創る～」
アニータ・ブラウン
デイビッド・アイザックス 著
香取一昭 川口大輔 訳

住民の主体的な学びを支援するための「参加型学習」に関する研修コンテンツ開発

～広島県立生涯学習センターの研修事業の改善・開発に向けて～

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 大名 克英

調査研究の概要

本調査研究では、当センターが開発を行っている研修コンテンツの活用方法を見直し、効果的なものに改めていくとともに、今後需要が高まってくる「参加型学習」に関する研修コンテンツについて、実際の市町で研修を行うために改善を加えた内容を明らかにしようとしている。

生涯学習振興・社会教育行政では、住民の主体的な学びを支援するために「参加型学習」を企画・運営する技能を身に付けることがより求められている。この技能は、生涯学習や社会教育の分野では古くから必要とされていたものであるが、今、改めて、その意義が強調されている。一方的な伝達のみによって養われるものではなく、体験による試行錯誤が加わることによって育まれるものであり、まさに研修によって身に付いてくるものである。

現在、センターには、これに関わる研修コンテンツとして、「参加型学習の基礎知識」があるが、依頼のあった研修にそのまま使う内容としては適当ではない。なぜなら実際に市町実施の職員研修で活用する場合には、研修の目的・目標や対象者に応じてアレンジを加えていくこととなり、その都度、内容は異なってくるものであるからである。そこで、本研究では、今年度、「参加型学習」をテーマにした研修を実施している廿日市市市民センター職員研修でのコンテンツ作りと絡めて、成人学習の特性を生かした視点を踏まえた参加型学習の必要性について明らかにしていくこととする。

当センターが、研修コンテンツをホームページに掲載する意味を、改めて考え直してみると、大きく二つの目的がある。一つは、eラーニングの機能、つまり電子媒体を用いて学習することができる機能を持たせること、もう一つは、パンフレットの機能、つまり、他の自治体でどのような研修がどのような内容で行われているかを知るための機能を持たせることの二つである。これまでは、これらの機能を区別せず、一緒にしてホームページに掲載していたが、この二つの機能に整理して、ホームページに掲載することで、欲する情報を把握しやすくできるようになると考えている。

今後の課題として、これまでの活用方法に加え、当センター主催研修の事前学習として活用することを考えていきたい。特に、平成28年度から新設する社会教育主事等研修において、「参加型学習」をテーマにした内容を扱うこととしているので、そこで活用していきたい。

調査研究の構成

研究テーマ設定の理由

- 1 当センターの研修コンテンツの現状
- 2 「参加型学習の必要性について」研修コンテンツ
 - (1) なぜ参加型学習の手法が必要とされているのか
 - (2) 参加型学習において、職員は何をすべきであるか
 - (3) 子供っぽい学びと大人っぽい学び
 - (4) 学びの変革アクションプラン～広島県教育委員会の取組～
 - (5) チームとしての取組の視点から
- 3 広島県立生涯学習センターの研修事業の今後について
- 4 今後の研修コンテンツについて

参考文献

住民の主体的な学びを支援するための 「参加型学習」に関する研修コンテンツ開発

～広島県立生涯学習センターの研修事業の改善・開発に向けて～

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 大名 克英

研究テーマ設定の理由

当センターが開発を行っている研修コンテンツの活用方法を見直し、効果的なものに改めていくとともに、今後需要が高まってくる「参加型学習」に関する研修コンテンツについて、実際の市町で行うために開発した内容を明らかにする方法を探る。

当センターの研修コンテンツの現状

研修コンテンツとは

市町における関係職員の研修に活用できる教材等。

当センターでは、生涯学習振興・社会教育関係職員等研修や地域課題対応研修支援での実践で使用した教材を、ホームページに掲載している。

参加型学習が求められる背景

①これまで知識・理解を重視していた

②参加型学習を支援する職員像が求められる

→廿日市市市民センター職員研修において、実際にオーダーがあり、活用するために開発し、実施をした。

研究テーマ

ここからのページが、廿日市市市民センター職員研修会において、実際に活用したコンテンツです。

参加型学習の必要性について

県立生涯学習センター
社会教育主事 大名 克英

話の流れ

「参加型学習について」

- 1 プロローグ **そもそも参加型学習とは**
- 2 われわれ職員は何をすべきであるか
- 3 子供っぽい学びと大人っぽい学び
- 4 チームとしての取組の視点から
- 5 エピローグ

1 プロローグ

そもそも参加型学習とは

**経験や意見の交流を通して、
お互いに学び合い、
参加者の主体的な学びを促進する
学習方法**

参加型学習のスタイル

- ・ 講義などの一方向的な知識伝達スタイルではない。
- ・ 参加者自らが参加して学び合う。
- ・ 参加者が学習効果を分かち合う。

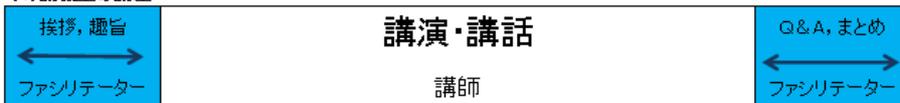
2 われわれ職員は何をすべきであるか

私達のすべきことは・・・



●ファシリテーターとしての社会教育関係職員の役割

(1) 講義型の講座



(2) 講師がいるが、グループワークを担当



(3) 講座の進行のすべてを担当



担当者のファシリテーターとしての関与の度合い

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター『参加体験型学習ハンドブック』平成21年.3, p.63

2 われわれ職員は何をすべきであるか

ファシリテーターとは、学びを促進する人【生涯学習e辞典】

ファシリテーターの役割

- ・人が集まった場における進行
- ・参加者の雰囲気づくり (例：約束…発言の平等，発言の肯定等)
- ・学習活動の深化・活性化への支援

ファシリテーターとしての心がけ

- ・人の話をよく聞く。
- ・ポイントを整理する。
- ・お互いに納得できる合意を作る。

2 われわれ職員は何をすべきであるか

ファシリテーションは仕事なの？ 指導役を担わないといけないの？

○公共の仕事の役割が変わってきた。

- ・住民からの意見を
聞き取る，吸い取る，拾い上げる。
- 重要な役割が増している。

- ・ここにいる時に，学ぶことができるチャンス。
- ・今，求められていることをより現実的に知るチャンス。

○新たな**相互作用**への期待。

手法としての「参加型学習」を浸透させていく意義

2 われわれ職員は何をすべきであるか

「参加者同士で情報交流したからOK？」

「意見を聞いておいたからOK？」

**○学習形態や手法を用いることが、
目的となっているケースも起こりうる。**

参加型学習を実施したとしても・・・

① マンネリ化してしまっている・やらされ感

② 成果が見えない・もやもや感

③ 一人でやりたい

○参加者が、目的達成に近づいていないことも…。

コラム 広島経済大学志々田まなみ教授



きけん!

「社会教育活動＝まちづくり」、あるいは、「社会教育活動＝子ども支援・高齢者支援、〇〇ボランティア」という誤解

地域振興
安心安全のまちづくり

**子ども支援
高齢者支援**

社会教育

**「社会教育」の
教育機能の空洞化**

3 子どもっぽい学びと大人っぽい学び

成人教育の視点から

- ・「経験」を共有したり，学習の「経験」をすぐに活かすことが，大人っぽい学びを促進するコツ
- ・参加者の学ぶ力・活動する力を，多面的に育むことが必要

活用の場につなげられない講座・研修会は
あまり意味がない
(成果の社会的還元)

次に何をしたいか・すべきかを、みんなで考える
機会を日頃から作る
(中期的計画)

「社会総がかり」の教育再生の中核は社会教育のはず！

コラム 学びの変革アクションプラン

～広島県教育委員会の取組～

やりたいこと，実現したいことをしっかり持って，様々な人々と協働しながら解決策を見出し，行動できる力を培っていく。

知識伝達型の学びでなく

●知識 ●スキル ●意欲・態度 ●価値観・倫理観

これらの向上を目指した主体的な学びを重視しよう。

【INPUT】
知識

活用
協働

【OUTPUT】
～できる

「知識を活用し，協働して新たな価値を
生み出せるか」

4 チームとしての取組の視点から

廿日市市市民センター職員研修

廿日市市市民センター職員研修自体が、まさにチームとしての取組。

- みんなで集まって語り合う。
 - ・地域性を考えて、1か所→2か所へ。
- 小グループでの話し合い。
 - ・それぞれの経験からの考えを出し合う。
 - ・それぞれが気づく。

学び合いによる連携・協働

4 チームとしての取組の視点から

時間 と 信頼

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
networking	coordinating	cooperating	collaborating
※情報を交換する	※情報を交換する ※ともに活動しやすいよう既存の活動を変更する	※情報を交換する ※同じビジョンにむかって活動を計画、実施する ※設備や人材、資金、技術を提供しあう	※情報を交換する ※同じビジョンにむかって活動を計画、実施する ※設備や人材、資金、技術を提供しあう ※連携相手の活動の充実のために支援しあう

隔たり

「協働」関係の成熟段階 (Himmelman, T., Collaboration for a Chance - Definitions, Decision-making models, Roles, and Collaboration Process Guide, HIMMELMAN Consulting, 2002等を参考に作成)

5 まとめ

まずは、できることから考えてみましょう！！

「参加型で、できることはないかな？」

「どんなことができるかな？」

「一緒に動いてほしいことって、どんなことがあるかな？」

ここまでが、廿日市市市民センター職員研修会において、実際に活用したコンテンツです。

廿日市市市民センター研修における 事後の感想



- ・できるところから、参加型学習の手法を取り入れていけば良いことが分かった。
- ・現在の事業や講座を運営するときに、できることもありそうだ。
- ・講義を聞くだけでなく、グループワークを行うことで、実務と関連した学びがあった。

単なる講義に終わらず、その後に主催者企画によるグループワークを取り入れたことが効果的であった。研修内容を、共に作り上げていく、新しい形の研修として実施することができた。

広島県立生涯学習センターの研修事業の今後について

○市や町の状況や要望に応じたオーダーメイド型の研修の創出

・訪問型研修に軸足をおいた各市町での研修実施に向けた支援を行っていく。

○ICTを活用した新しい研修の創出

・コンピュータをメディアとする活動(eラーニング)を事前に行い、そこで得た知識を応用して学びを深めていく等、新しい研修の手法を考えていく。

※今後、市町職員の業務が増え、時空間の制約が大きくなる傾向が強まることが予想される。そうしたことに対応できるように、ICTを活用した新しい研修に力を入れていくことが求められている。

今後の研修コンテンツについて

～活用充実のためのホームページへの掲載方法の工夫～

これまで

生涯学習振興・社会教育関係職員等研修や地域課題対応研修支援での実践で作成した教材を、一般化してホームページに掲載している。

※一般化することによって、実際に使用している状況や活用している内容が逆にわかりにくくなってしまっていた。

これから

○ eラーニング（自主学習）機能のページの作成

・隙間の時間を使って、学習をすることができる。

隙間の時間を使い学ぶことができるように、一つのコンテンツを15分程度で聞き終えることができるよう、音声付のデータをホームページに掲載する。

・研修の事前学習として活用できる。

集合型の研修に参加する際には、事前に視聴してもらうようにする。最低限の基礎知識を把握した上で、受講してもらうことができるので、研修内容の理解が更に進むと考える。

○ パンフレット機能のページの作成

・様々な研修に関する情報を収集することができる。

他の自治体でどのような研修が、どのような内容で行われているかを知ることで、自分の自治体に必要な研修を考えることができる。

参考文献

- ・ 「参加体験型学習ハンドブック」国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編 平成21年3月。
- ・ 「社会教育計画ハンドブック」国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編 平成23年7月。
- ・ 中野民夫「ファシリテーション革命 参加型の場づくりの技法」岩波アクティブ新書 2009年。
- ・ 中野民夫 森雅浩 鈴木まり子 富岡武 大枝奈美「ファシリテーション 実践から学ぶスキルとこころ」岩波新書 2009年。
- ・ 香取一昭・大川恒「ワールド・カフェをやろう 会話がつながり、世界がつながる」日本経済新聞出版社 2013年。
- ・ フラン・リース「ファシリテーター型リーダーの時代」プレジデント社、2002年。
- ・ 苅宿俊文・佐伯胖・高木光太郎「ワークショップと学び1『まなびを学ぶ』」東京大学出版会、2012
- ・ 苅宿俊文・佐伯胖・高木光太郎「ワークショップと学び2『場づくりとしてのまなび』」東京大学出版会、2012
- ・ 苅宿俊文・佐伯胖・高木光太郎「ワークショップと学び3『まなびほくしのデザイン』」東京大学出版会、2012
- ・ 堀公俊「今すぐできる！ファシリテーション～効果的なミーティングとプロジェクトを目指して～」PHPビジネス新書、2006
- ・ 「参加体験型学習ハンドブック」国立教育政策研究所社会教育実践研究センター編 平成21年3月
- ・ 広島県立生涯学習センター研修コンテンツ「参加型学習の基礎知識」

広島県の成人式 ～心に残る成人式をめざして～

広島県立生涯学習センター
主任 内藤 遊

調査研究の概要

本調査研究は、成人式を担当されている方に、自分の市町にとって理想的な成人式を考えるきっかけとなる資料を提供することを目的としている。

日本の成人式は、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほめます」ことを目的として、昭和 23 年に公布された「国民の祝日に関する法律」の中で「成人の日」が制度化されてから、市区町村が運営する皆が良く知る現在のスタイルが、全国に普及することとなった。その後、社会の変化の中で、「荒れる成人式」が大きく取り沙汰され、その存在意義すら問われる中、各市区町村は、様々な新しい取組を行いながら、制度制定時の理念を守ってきた。そして今、新しい社会の変化の中で、再び成人式に対する期待が高まってきている。若者の流出が進む多くの地方公共団体では、若者と地域の接点を増やすために、様々なイベントが行われており、成人式を若者と地域の絆づくりという視点で見れば、これほどの認知度と参加率を誇るイベントは他にはない。若者の方でも、成人式に集うことで、自分を育んできたものと再会し、そこから得られる気づきや学びを求めているのである。この関係性は、成人式が地域活性化の鍵となるイベントになり得る可能性を示している。もちろん若者のUターンによる県内人口の維持が喫緊の課題となっている広島県も例外ではない。

本調査研究ではまず、制度制定時の理念や生涯学習振興・社会教育担当部署がこの行事を担う必然性を今一度確認するとともに、成人式が持つ現代的な意義について示す。次に、他県の調査状況の概要を踏まえた上で、当センターが毎年度 2 回にわたり実施している県内の成人式の調査のほか、平成 27 年度に県内市町で実施された成人式の中から他市町の参考となる先駆的な事例を抽出し、その教育的な意義について分析する。最後に、参加者の心に残る成人式を考える上でのヒントとして、当センターが実施する研修等で重視している「参加型学習」「コーディネート」「ファシリテーション」の効果を参考にしつつ、今後の課題について考察を行う。

調査研究の構成

イントロダクション

- 1 成人式の意義
- 2 県外の成人式
- 3 県内の成人式
- 4 まとめ

参考資料

広島県の成人式

～心に残る成人式をめざして～



広島県立生涯学習センター
主任 内藤 遊

この調査の目的

成人式を担当されている方に、**自分の市町にとって理想的な成人式**を考えるきっかけとなる資料を提供する。

成人式の企画・運営を、より**楽しい**ものにしていきましょう！



目次

イントロダクション

1 成人式の意義

- (1) 起源
- (2) 社会教育と成人式
- (3) 現代成人式のあゆみ

2 県外の成人式

- (1) 注目される取組①②
- (2) 白保の成人式
- (3) 瑞浪市の成人式

3 県内の成人式

- (1) 全体的な傾向
- (2) 成人式大賞を受賞した成人式
- (3) 安芸高田市の成人式
- (4) 熊野町の成人式
- (5) 広島市の成人式

4 まとめ

心に残る成人式をめざして①②

参考資料①②

イントロダクション

▶ 成人式の記憶を呼び起こすと…？

1990S 愛知県豊橋市

Sさん 「行かなかった」

2000S 東京都世田谷区

Nさん 「人が多すぎてよくわからない」

2010S 広島県安芸高田市

Aさん 「楽しかった」



あなたの成人式は？

1 成人式の意義

(1) 起源

➤ 通過儀礼としての成人式

一定の年齢になれば成人と認められるもの

一定の能力が備われば成人と認められるもの

世界の例 「バンジージャンプ」「ライオン狩り」

日本の例 「元服」「徴兵令」「成年式」

➤ 制度化された日本の成人式

国民の祝日「成人の日」(1月の第2月曜日)

昭和23年(1948年)「国民の祝日に関する法律」により制定

背景には、戦後復興期の青少年への期待、犯罪者化防止

終戦翌年に埼玉県蕨町の青年団が開催した「成年式」が、現代成人式の起源と言われている

1 成人式の意義

(2) 社会教育と成人式

➤ 趣旨

おとなになったことを自覚しみずから
生き抜こうとする青年を祝いはげます

➤ 意義

◆ 成人式は当日だけのものではない。

義務教育終了期から成人に達するまでの青年の自主的修練、
事後の青年の自主的修練を支援する施策を考慮すべき

◆ 成人式は成人だけのものではない。

将来成人になる者にもおとなになる自覚とはげみを与え得るように

◆ 成人式は市町だけのものではない。

関係機関・団体の参加、国及び都道府県も中央的諸行事を行うことが必要

59年前！

「成人の日」の運営等について(昭和31年総審青第102号中央青少年問題協議会会長から内閣総理大臣あて意見具申)、「成人の日」の行事について(昭和31年国社第162号各都道府県教育委員会あて文部事務次官通達)よりポイントを抜粋

1 成人式の意義

(3) 現代成人式のあゆみ

普及

ほぼ全ての市区町村が成人式を実施

逆風

若者と地域のつながりの希薄化や大学進学者の増加等、社会の変化により成人式が形骸化し、「荒れる成人式」の時代へ。成人式不要論も…

新しい成人式へ

形骸化を脱却しようと、実行委員会形式の導入等、新たな取組が生まれる

そして今、高まる成人式への期待

若者と地域の絆づくりを求める地方公共団体

× 気づきや学びを求めて成人式に集う若者

＝ **成人式が地域活性化の鍵となるイベントになる可能性**

若者のUターンによる県内人口の維持を目指す広島県※も！

※ひろしま未来チャレンジビジョン改訂版[第2章人口ビジョン社会動態の展望]

2 県外の成人式

(1) 注目される取組①

多くの都道府県では、域内の成人式を調査し、その結果をHP等で公表している。本調査研究では、各都道府県の平成27年度成人式調査結果を収集し、その中から特徴をピックアップした（詳細は添付資料を参照）。

進化する実行委員会形式

岩手県花巻市（832名（参加））

新成人22名と次年度新成人18名の合計40名。

OB・OG会がまちづくりへ参画

埼玉県寄居町（329名（参加））

19・20・21歳委員が、3年間、企画・運営に参加

神奈川県伊勢原市（748名（参加））

OB・OG会を組織しバックアップ他、市や地域の事業への協力

大分県国東市（249名（参加））

新成人が高校3年生の時に呼びかけ募集

（ ）内は新成人数(対象又は参加人数)

2 県外の成人式

(1) 注目される取組②

拡大する連携範囲

神奈川県海老名市（885名（参加））
同日開催の還暦式参加者（839名（参加））
と交流
大阪府岸和田市（2,112名（対象））
アトラクション・地域団体・職員等500人が関わる

絆を深める取組

岩手県奥州市
家族からの手紙、20歳からの手紙
島根県海士町（17名（参加））
町内で活躍する方たちからの応援
メッセージ

地域の魅力を伝える 取組

北海道乙部町（31名（参加））
町内視察、地域の祭りと同日開催
青森県平内市（75名（参加））
夏祭りと連動した故郷のPR
岩手県田野畑村（36名（参加））
観光船クルーズ
宮城県仙台市（約6,900名（参加））
市内でまちづくり等の活動をする若者の
団体や行政部署によるブース設置

思い切った会場設定

青森県今別町（12名（参加））
北海道新幹線開業前の奥津軽いまべつ駅構内
千葉県浦安市（1,463名（参加））
東京ディズニーランド
千葉県鴨川市（388名（対象））
鴨川シーワールド
千葉県成田市（1,430名（対象））
成田国際空港第2旅客ターミナルビル前中央広場

（ ）内は新成人数(対象又は参加人数)

2 県外の成人式

(2) 白保(しらほ)の成人式

▶ 幼なじみでつくる、地域への贈り物

沖縄県石垣市にある集落で、人口は約1600人。「白保豊年祭」等、伝統行事が数多く継承されている。

新成人は20名前後で、参加者全員でつくりあげる成人式は、お正月の2日間をかけて、**白保公民館**で開催される（※石垣市とは別に開催）。

第1日の**成人舞踊発表会**では、保護者が**お酒**を手に新成人の舞踊を観覧し、わが子の成長を実感する。第2日の**成人祝賀会**では、新成人が一人ずつ**両親への手紙**を読み上げ皆が涙する。会場には保護者しか入れないが、**地域の人が窓に鈴なりとなって様子を見守る**。

準備には多くの時間と労力が費やされるが、兄弟同然に育った新成人たちが集う最後の機会として、また、普段はなかなか言えない保護者への感謝の気持ちを伝える機会として、重要な役割を果たしている。そのことが、**地元住民からも大切な行事として認識されているゆえんになっている**。

NNNドキュメント ～#2016 ゆばなうれ 石垣島 親子で踊る成人式（日本テレビ）

2 県外の成人式

(3) 瑞浪 (みすなみ) 市の成人式

▶ 演出にこだわり多くの人が共感

岐阜県にある人口約38,900人の市。美濃焼や化石で有名。

新成人からなる実行委員20名が企画運営した平成26年度の成人式は、新成人式研究会の第15回成人式大賞2015で成人式大賞を受賞している(成人式大賞については後述)。評価された点は以下のとおり※。

- 式典とアトラクション的な場面を分離せず、「私達の今」、「ありがとうの手紙」、「成人の火の伝達(先輩からの激励)」、「未来への希望と誓い」、「主催者挨拶等(お祝いの言葉、記念品贈呈)」等、多彩な行事をバランスよく配置した点
- 他の自治体の「感謝の手紙」と異なり「父親」「母親」「弟」「祖父母」「地域の人」「友達」「恩師」に宛てた新成人の感謝の手紙を用意した点
- 前年に大ヒットした曲を成長の記録の映像のBGMに取り入れ、その歌詞を地元弁でアレンジして親しみあるものにする等の創意工夫

※第15回成人式大賞2015審査講評(新成人式研究会成人式大賞審査委員会)

3 県内の成人式

(1) 全体的な傾向

多くの都道府県と同様、当センターでも、毎年度2回にわたり、県内の成人式を調査している。まず、平成27年度の調査結果から、県内の成人式の全体的な傾向をまとめる。

実施日

8月(5市町(5会場))
1月(19市町(35会場))
※呉市は地区別に実施している。

規模

新成人者数	市町数 (呉市の地区数)
100人未満	2(12)
100人以上500人未満	13(5)
500人以上1000人未満	2(1)
1000人以上	6(0)

※多くの市町で、招待状を住民基本台帳記載者のほか、小・中学校卒業生まで送付している。

特色

特色ある内容	市町数	
A 新成人が企画立案等に関わる	14	
B 将来の新成人が式典等に関わる	7	
C 学級担任等を招待する	保育所	1
	小学校	9 14※
	中学校	14
D 学級担任等のメッセージを掲載・紹介する	16	

※複数の校種を選択した市町があるため校種別数の合計と一致しない。

3 県内の成人式

(2) 成人式大賞を受賞した成人式

年	応募件数	受賞件数	県内受賞
2001	26	4	—
2002	—	11	広島市(アイデア賞), 廿日市市(話題賞)
2003	—	22	広島市(大賞)
2004	—	33	—
2005	—	32	広島市(奨励賞), 廿日市市(努力賞)
2006	—	26	広島市(審査委員会特別賞)
2007	—	50	広島市(貢献賞), 三次市(アイデア賞), 大竹市(話題賞)
2008	83	46	広島市(貢献賞), 三次市(アイデア賞), 三原市(努力賞)
2009	78	34	三原市(企画賞), 大竹市(アイデア賞)
2010	82	39	大竹市(アイデア賞), 福山市(アイデア賞), 三原市(企画賞)
2011	79	35	広島市(奨励賞), 三原市(アイデア賞)
2012	—	32	広島市(奨励賞), 三原市(奨励賞)
2013	89	35	広島市(奨励賞), 三原市(奨励賞)
2014	94	33	三原市(優秀賞), 広島市(奨励賞)
2015	98	36	三原市(優秀賞), 広島市(奨励賞)
2016	—	32	—

県内の成人式のうち、全国的に高い評価を受けている成人式として、成人式大賞各賞を受賞した成人式をまとめる。

広島市(11回)
三次市(2回)
三原市(8回)
大竹市(3回)
廿日市市(2回)

成人式大賞について…学者、実務家等からなる新成人式研究会が平成13年に設立した成人式表彰制度。毎年、自治体等からの応募を受けて写真及びビデオテープ等をもとに「企画・運営・準備およびアフターケア」や「地域社会の新たな活性化・一層の発展」といった観点で大賞他各賞を選出。他地域の成人式を知る資料ともなっている。

3 県内の成人式

(3) 安芸高田市の成人式

➤ 和やかな雰囲気の中で市の未来を考える



平成27年8月15日(土)
クリスタルアージュ
対象321名 参加199名

- ゆるキャラ「たかたん」や郷土芸能「安芸高田神楽」を配した撮影スポットがあり、「たかたん」の着ぐるみと一緒に写真も撮れる、地域の魅力を身近に感じることができる。
- 会場に流れる安芸高田市民からのメッセージビデオや、安芸高田市各課(保健医療課・商工観光課・生涯学習課)による事業紹介から、安芸高田市の「今」と、若者への期待が伝わってくる。
- 著名人の講演ではなく、安芸高田市で活躍する先輩から、進学や就職時の迷いや失敗、現在の仕事や地域活動の様子がリアルに語られ、安芸高田市での暮らしがイメージできる。



進学や就職で市外にいる新成人たちの帰省に合わせ、夏の開催とすることで、ドレスやスーツで着飾った新成人たちの華やかな記念撮影となった。

3 県内の成人式

(4) 熊野町の成人式

➤ 町への愛着が深まる成人式

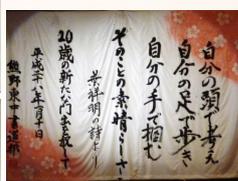


平成28年1月10日(日)
熊野町民会館ふでりんホール
対象255名 参加216名
実行委員会 新成人7名

- 町の特産品「熊野筆」を活用した演出が、町への愛着を深める効果をあげていた。プログラムには、町のゆるキャラ「ふでりん」があしらわれている。式典の前に、熊野東中学校書道部が新成人を祝うメッセージを大書。ホール入口に設けられた模擬投票コーナーでは、来場者216名中189名が投票。テーマ「もっとアヒールしたい!熊野町の魅力はどれ?」の選択肢にも「熊野筆」があり、式典の最後に発表された投票結果では他の選択肢「豊かな自然」「地元特産品を使った食べ物」と圧倒的な差をつけて最大票を集めた。



多くの来賓(町議会議員、自治会長、小中学校校長、民生委員、選挙管理委員、社会教育委員等)や保護者の来場があったことで、新成人への祝福が伝わってきた。



3 県内の成人式

(5) 広島市の成人式

➤ 新成人一人一人に届ける工夫



平成28年1月11日(月) 広島サンプラザ
対象11,779名 参加約7,600名
実行委員会 新成人9名

- 「中学生ごとの同窓会コーナー」では、市内全中学校のプラカードが設置され、約7,600人もの新成人が再会できるよう、コーディネートされていた。
- 実行委員会は、新成人だけでなく、同年代の若者も参加でき、テーマの決定、アトラクションの企画・運営、当日配布用プログラムの企画・編集、新成人宣誓、記念品受領等の役割を行う中で、経験を積んだり、仲間作りをすることができる。その他、アトラクション、記念品のデザイン、記念品引換えコーナー等様々な場所で、地元の大学生や中学生が活躍する場が用意されていた。



4 まとめ

心に残る成人式をめざして①

➤ 「変わらないもの」を大切に

若者が人生の節目を意識できること、若者に周囲からの「おめでとう」のメッセージが伝わることは、成人式の中心的な価値として大切にしたい。しかし、成人式への期待の高まりとともに、「青少年教育」としての役割を強化することが求められている。

➤ これからの成人式に必要なこと

1. **地域の魅力を強く打ち出し、他地域（都会等）との差別化を図る**ことで、若者をその地域に惹きつけること。
2. 地域リーダーの育成や地域活動コミュニティの形成まで視野に入れ、**参加者の主体性を高める「参加型」を促進**すること。
3. **様々な主体を巻き込む**ことで、地域の人・コミュニティ・仕事・地域活動を「見える化」し、その地域での「暮らし」を具体的にイメージさせること。

4 まとめ

心に残る成人式をめざして②

➤ 実現へのヒント

センター指導者研修

「成人式」という学習プログラムを作るために

コーディネート

公民館等、社会教育の現場では、地域課題を踏まえ、個人の要望と社会の要請をバランス良く配分しながら学習プログラムが作られている。世界に一つの成人式を作る場合にも、このノウハウは応用できる。センター指導者研修では、学習プログラムの企画・立案・評価手法を演習により身に付けることができる。

成人式を活用した地域人材の育成に

参加型学習

住民の合意形成やまちづくり参画を促進する手法として発展してきた参加型学習は、成人式を成功させ、さらにその場だけで終わらせることなく地域活性化へとつなげていく方策として導入が進んでいる。センター指導者研修でも、受講者の主体的な学びを促進するために、参加型学習を積極的に取り入れている。

新成人を中心とした地域の関係づくりに

ファシリテーション

多様な主体と連携・協働しながら作り上げる成人式では、効果的な場を企画・進行していくファシリテーション技法が必要となる。センター指導者研修では、最新のファシリテーション技法を体験することができる。

センター調査研究

参考資料①

- 「成人の日」の運営等について（昭和31年総審青第102号中央青少年問題協議会会長から内閣総理大臣あて意見具申）
- 「成人の日」の行事について（昭和31年国社第162号各都道府県教育委員会あて文部事務次官通達）
- ひろしま未来チャレンジビジョン改訂版（平成27年10月策定広島県総務局経営企画チーム）
- 花巻市HP「花巻市・花巻市成人式記念行事実行委員会が『成人式大賞』を受賞しました」
<http://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/shogaigakushu/184/p005015.html>
- 広報よりい平成28年2月号
- 伊勢原市HP「平成28年成人式」
<http://www.city.isehara.kanagawa.jp/docs/2016011500161/>
- 国東市HP「久々の再会に笑顔！平成27年度国東市成人式」
<https://www.city.kunisaki.oita.jp/soshiki/catv/seijinsiki.html>
- 広報えびな平成28年2月号
- 広報海士平成28年9月号
- 広報おとべ平成27年9月号
- 広報ひらな平成27年9月号
- 広報たのはた平成27年9月号
- 仙台市HP「平成28年成人式の開催について（終了しました）」
<http://www.city.sendai.jp/kyouiku/youngaku/other/seijinsiki-kaisai.html>

参考資料②

- 日本経済新聞2015.8.14記事「新幹線新駅で夏の成人式 青森県今別町」
http://www.nikkei.com/article/DGXLASDG14H23_U5A810C1CC0000/
- 浦安市HP「平成27年度浦安市成人式の開催結果」
<http://www.city.urayasu.lg.jp/kodomo/seishonen/seijin/1007521.html>
- NNNドキュメント ～#2016 ゆばなうれ 石垣島 親子で踊る成人式（日本テレビ）
- 新成人式研究会HP
<http://www.seijinshiki.org/>
- 広報あきたかた平成27年10月号
- 熊野町HP「成人式FAQ集 ～よくある質問集～」
<http://www.town.kumano.hiroshima.jp/www/contents/1165307717140/index.html>
- 広島市HP「平成28年広島市成人祭を開催しました。」
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1454906439539/index.html>
「平成28年広島市成人祭実行委員会より」
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1455609729658/index.html>
- 新しい成人式の創造 企画・運営の手引き（平成13年新成人式研究会・編集）
- 各都道府県HPの成人式関連記事（詳細は添付資料を参照）

添付資料

各都道府県の平成27年度成人式調査結果一覧

県番号	都道府県名 (県庁所在地)	掲載場所	調査内容	市町村	特長				
1	北海道(札幌)	http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/kis/hahappyou/H27.12/H27.12.24-111123456321.pdf	成人式該当者数、成人の日の行事への参加対象者数、参加対象区分、成人該当者及び成人式等参加者の最多・最少市町村、成人式実施期日、行事内容、成人式等の運営方法、記念品、成人該当者の推移、管内成人該当者数の内訳	松前町	20歳の決意を書き揮毫(きごう)				
				乙部町	町内視察				
				今金町	未来への自分へメッセージ				
				幌加内町	素焼きマグカップの絵付け				
				芽室町	両親からのメッセージ朗読				
2	青森県(青森)	http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/chosa_seijinsiki.html	成人式を所管する部局、成人式の夏型と冬型、成人式の予定月日、成人の日以外に成人式を実施している理由、成人式の対象者の基準、市・郡別の成人式対象者数、夏型・冬型別成人式対象者数、成人式のテーマ、成人式の行事内容、成人一人当たりの経費、成人式の記念品、成人式の企画・運営の主体、式典座席・写真撮影・会食等について、特色及び運営の工夫について、平成27年度「成人式」調査結果〔冬季開催分〕、平成26年度成人式調査集計表〔実績〕	平内町	8/15～8/16に開催している夏まつりと連動した故郷のPR				
				今別町	北海道新幹線の開業に合わせて、開業前の奥津軽いまべつ駅構内を会場に設定(予定)				
				外ヶ浜町	中学校卒業時の担任と学年担任を囲んでの「はたちの学級会」を3学校に分かれて開催する				
				深浦町	1/2成人(10歳)のお手伝い				
				おいらせ町	祝賀会の料理を百石高校食物調理科に依頼して実施。町商工会青年部や町連合婦人会、町青年団、一般公募ボランティア等の協力により全体を運営。翌日(成人の日)に障害者成人式を実施(自宅訪問による)				
3	岩手県(盛岡)	http://www.pref.iwate.jp/shougaigakushuu/shakyou/041457.html	期日、会場、記念事業、問い合わせ先	北上市等	模擬選挙				
				奥州市	家族からの手紙、20歳からの手紙(岩手県立生涯学習推進センター「まなびネットいわて『過渡期を迎える成人式』(H27.3.17発行)」より) 当祝者一人ひとりに親や家族からのメッセージを密かに準備してもらい、サプライズで当日に本人に渡したり、全体の前で紹介したりすることで、家族の絆や二十歳を迎えた意味を改めて考える機会とする				
				田野畑村	観光船クルーズ				
				花巻市	(岩手県立生涯学習推進センター「まなびネットいわて『過渡期を迎える成人式』(H27.3.17発行)」より) ・開催要項には、その目的が「成人の意義を改めて考え、新成人を祝うとともに、故郷のすばらしさを認識する機会とする」と記されています ・実行委員は46名(次年度の対象者が17名) ・18回の会議、それ以外に、部会での自主的活動は、延42回 ・実行委の人的つながりは、OB・OG会の活動に継続され、まちづくり等への関わりへと発展				
				仙台市	交流の広場(市内でまちづくりなどの活動をする若者の団体や行政部署によるブース設置)				
4	宮城県(仙台)	http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seizinin dex.html	各市町村の成人式実施日及び対象者数、成人式会場及び主な内容、企画・運営への新成人の参加、成人式実施日の設定理由、記念品贈呈の有無、各市町村成人式担当部署等一覧表、成人式対象者の推移	仙台市	交流の広場(市内でまちづくりなどの活動をする若者の団体や行政部署によるブース設置)				
				5	秋田県(秋田)	http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1135555083752/	該当者数、生年月日、開催期日、成人式会場、式典有無、成人式当日の行事、今年度の成人式について、実行委員会、成人証の有無、記念品の有無、担当課	男鹿市等	新成人による意見・体験発表
				鹿角市等				模擬投票	
				北秋田市等				文集発行	
八峰町	出身中学校でのホームルームを実施								
6	山形県(山形)	http://www.pref.yamagata.jp/pickup/interview/pressrelease/2015/12/18102008/	年別成人式該当者数、年別成人式実施月・市町村地域数、1月11日の「成人の日」に成人式を実施しない理由、成人式が落ち着いた雰囲気のもので充実した式となるよう工夫している点、県内市町村・成人式実施予定期日一覧、年別成人式該当者数の推移	—	1.3.4.5.8月実施				
				1市町村	1/2成人(小学4年生)によるお祝い・励ましの言葉の伝達により成人式が落ち着いた雰囲気のもので充実した式となるよう工夫				

添付資料

各都道府県の平成27年度成人式調査結果一覧

県番号	都道府県名 (県庁所在地)	掲載場所	調査内容	市町村	特長
7	福島県(福島)	http://www.syakai.fks.ed.jp/seijin/seijin.htm	福島県内の「成人式」該当人員数、成人者の年次推移、式典実施期日別市町村数の年次推移、平成28年成人式参加対象生年月日区分別人員数、平成28年成人式典(実施年月日・会場・開催予定時間)、記念事業(実施の有無・会場・開催予定時間・事業名称)、主な贈呈記念品(品名・贈呈場所)、平成27年成人式実施概要(平成27年成人式典実施月日・記念事業実施の有無・該当人員・出席人員・出席率)	—	出席率平均78.8%
				大玉村	実行委員手作りの記念品
				須賀川市等	成人証書、記念誌
8	茨城県(水戸)	http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/welcome/kcho/press/teikyuu/h27/0105.pdf	新成人数、成人式の実施期日、成人式の実施市町村	—	—
9	栃木県(宇都宮)	http://www.pref.tochigi.lg.jp/m06/houdou/28seijinnohi.html	新成人の対象者、式典の実施日、特徴的な記念行事等について	—	実行委員会方式採用市町23/25
				宇都宮市	地域交流事業…新成人の「地域社会の一員としての自覚」を促すとともに「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むことを目的とし、地域の特性を活かした事業等を実施する(現在、各実施委員会にて企画検討中)
10	群馬県(前橋)	http://www.pref.gunma.jp/houdou/c3000044.htm	新成人数、新成人数の推移、「成人の日」記念行事の実施計画状況	—	—
11	埼玉県(さいたま)	https://www.pref.saitama.lg.jp/f2216/station/h27-seijinshiki.html	埼玉県内の新成人予定者、実施期日、会場、式典・記念行事、企画・運営、新成人への記念品、成人式の出席者への要望事項、特色ある取組、成人式について、市町別調査集計表	—	企画・運営の新成人の参加57/63 成人式の実行委員会51/63
				寄居町	19歳委員(次年度成人式該当者)、20歳委員、21歳委員(前年度成人式該当者)が成人式運営委員として、3年間、企画・運営に参加する
				宮代町	空から撮影した、母校の風景等を動画「思い出の散歩」として上映する
				松伏町	式典では、成人者代表が「誓いの言葉」宣言を読み上げた後、全員が自分の名前を宣言する
				川越市	新成人に抱負等を書いてもらい、あらかじめ作成するモニュメントに貼り掲示する(式典当日実施)
				秩父市	新成人有志の式、ピアノ伴奏による「旅立ちの日に」全員合唱、式典開式前にBGMとして市内中学校校歌を放送
				本庄市	式典前:中学校時代の音楽祭DVD上映、参加者には郷土の偉人塙保己一の検定問題等を配布
				蕨市	式典の中で市内団体に依頼して、成人することへの思いを歌った『決意』の演奏合唱を行う
				三郷市	ご家族のために、別ホールでライブビューイングの実施
				春日部市	(H26年度調査より) 市内商店街と連携し、成人式に参加した新成人にクーポンを配布し、商店街でサービスをするなど、地域を挙げて新成人を祝福する
12	千葉県(千葉)	http://www.pref.chiba.lg.jp/kkbunka/press/2015/h28seizin.html	「成人の日」の趣旨、本県の新成人者数、市町村における成人式の実施予定(実施日・式典会場数・記念行事・運営方法等について)、近年の成人式出席率、市町村別新成人者数一覧、平成28年成人式日時・会場一覧、平成28年成人式記念行事内容一覧、平成28年成人式行事等実施形態一覧表	—	・記念行事等をレジャー施設等で実施している市 浦安市(東京ディズニーランド) 鴨川市(鴨川シーワールド) 成田市(成田国際空港第2旅客ターミナルビル前中央広場) ・実行委員会・運営委員会等44/79
				船橋市	似顔絵、シールプリント、コーヒー、恩師メッセージ、未来ポスト、写真撮影、式典モニターの各コーナー
				松戸市	コンテスト(新成人が特技と郷土愛を披露し合う)
				八街市	ゆるキャラ看板記念撮影コーナー設置
13	東京都(東京)	発見できず。	—	—	—

添付資料

各都道府県の平成27年度成人式調査結果一覧

県番号	都道府県名 (県庁所在地)	掲載場所	調査内容	市町村	特長
14	神奈川県(横浜)	http://www.pref.kanagawa.jp/prs/p988756.html	新成人数の推移、行事実施日、行事における全体的な特徴、記念品の贈呈、参考(市町村ごとの特徴的な内容など)、行事の概要、行事の内容等、行事の特徴、その他(記念品・Web上の情報提供・広報紙での情報提供)、前年該当者数	伊勢原市	成人式実行委員会を組織(新成人19名、前年の実行委員20名計39名)。成人式実行委員OBOG会を組織し成人式のバックアップほか、市や地域の事業への協力などを行っている
				海老名市	式典後、還暦式と合同で風船とばしを行う
				綾瀬市	・当日スタッフとして青少年育成員、ジュニアリーダー、青少年サポーターに受付や会場整理等を依頼 ・キヤノン株式会社写真撮影及び配布を依頼・市民俗芸能保存協会、市民サークルにオープニングセレモニーを依頼 ・人材バンク登録者に着付け直しを依頼 ・市手話通訳登録者に式典の手話通訳を依頼
				清川村	ヘリコプターによる郷土空中散策
15	新潟県(新潟)	http://www.pref.niigata.lg.jp/syogaigakushu/1356809423182.html	実施日、会場、担当課、担当係、電話番号	—	1.3.5.8月に実施
16	富山県(富山)	発見できず。	—	—	—
17	石川県(金沢)	発見できず。 平成26年度より http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kisya/h26/12gatukyoui.html	開催日、参加対象者生年月日、参加対象者数、式典日時、実施場所、成人式主催者名、式典日時、参加対象者人数、実施場所、会場電話番号、県内成人式参加対象者数の推移	金沢市	公民館が主催者となって実施している
18	福井県(福井)	発見できず。	—	—	—
19	山梨県(甲府)	発見できず。	—	—	—
20	長野県(長野)	http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/bunka/kanren/h28seijinshiki.html	実施期日、市町村数、対象者数、実施場所、担当部署、電話番号、対象予定者数、対象生年月日、前年参加数、実施日選定理由、主催者、主な行事内容	—	1.5.8月に実施 来年度、本調査における調査項目の見直しを検討する予定です。
21	岐阜県(岐阜)	http://www.pref.gifu.lg.jp/event-calendar/c_17768/seizin28.html	新成人数、新成人の生年月日、成人式の実施期日、主な記念行事、主な記念品、特記事項	羽島市	「光のプロムナード」式典内で新成人代表者が献灯台にろうそく灯す
				大垣市	成人式式典のインターネットライブ配信
				関市等	タイムカプセル開封
				可児市	「三行メッセージ」新成人・市民から事前に募集。当日は読み上げや会場掲示を行い、記念冊子に掲載する
				坂祝町	「郷土遊覧飛行」ヘリコプターに乗り、故郷を空から眺める
				御嵩町	「MTK48からのお祝い」MTK48(町内在住65歳以上の方をメンバーとした介護予防体操グループ)による介護予防体操披露とお祝いの言葉
				瑞浪市	「私たちの今」をあらわすショートムービー、スライドを作成し、実行委員会の生歌に合わせて上映
				高山市(全地区)	「はたちの思い一行詩表彰」事前に、はたちになったの決意や思いなどを「はたちの思い一行詩」として募集。優秀作品を選定し、全応募作品を掲載した冊子を配布
高山市(清見)	『寿りんご』の贈呈」清見中学校の生徒が育てたりんごを贈る				
22	静岡県(静岡)	発見できず。	—	—	—
23	愛知県(名古屋)	発見できず。	—	—	—

添付資料

各都道府県の平成27年度成人式調査結果一覧

県番号	都道府県名 (県庁所在地)	掲載場所	調査内容	市町村	特長
24	三重県(津)	http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2015120213.htm	実施日、会場、H28年新成人数、H27年式典参加者、担当部署、連絡先、事前の企画・運営の方法について、当日の特色ある式典内容	鈴鹿市	広報やポスター等の公募で集まった新成人12名で実行委員会を組織している。5月以降毎月1～2回程度、鈴鹿市役所で実行委員会を開催し、実行委員と市職員で企画運営を行っている
				いなべ市	いなべ市では中学校区ごとに新成人を開催しています。各会場に実行委員会(実行委員は中学校卒業時に委嘱しています)を立ち上げ、5～6回の会議を行い、企画、運営を行います
				木曾岬町	成人式実行委員会を数回開催し、記念品や来賓、アトラクションの内容などを決めていく。また、「新成人と語る集い」を開催し、新成人の代表が町長や議長と意見交換し、若者の声を取り入れた町づくりに繋げていく企画をしている
				津市	市内各中学校から推薦された48人の委員で成人式実行委員会を組織し、津市・津市教育委員会と共に、3者で式の運営を行う。実行委員会は、イベント・司会進行部、しおり作成・受付部、会場装飾部の3つの部に分かれて準備及び運営を行う
				明和町	6月号の町広報で新成人の実行委員会を募集を行った。出身小学校6校区の代表者で実行委員会を組織し、9月から1回をめぐり、役場会議室等に19:30から集まり、明和町の担当職員も入り、企画・運営を進めている
				大紀町	前年度の成人式では乾杯の際にジュースではなく、地元の「大内山牛乳」で乾杯しました
				伊賀市	市内9カ所の中学校区で開催。各地区ごとに新成人を中心とした実行委員会を設置し、式典の企画・運営を行っている。実行委員会は新成人のほか、教育委員会事務局職員、公民館職員、社会教育委員、住民自治協議会などで構成している
25	滋賀県(大津)	発見できず。	—	—	—
26	京都府(京都)	http://www.pref.kyoto.jp/seisho/news/press/2014/12/27seijinshiki.html	府内新成人数、年月日、時間、会場、新成人数、備考(記念行事の特色等)、担当課、電話番号	京都市	新成人代表者による誓いの言葉やお祝いの踊りを実施。第2会場では市内中学校(110校)の看板を設置し、母校等からのメッセージを掲示。
27	大阪府(大阪)	http://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pagelid=22800 http://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pagelid=22696	平成27年度大阪府内市町村新成人数、新成人数の推移、平成27年度大阪府内市町村「成人の日」行事(行事名、主催者名、日時、会場、主な内容、所管部(局)課名、電話番号、備考(式典等における特徴的な点、周知方法、昨年度からの改善点))、平成27年度大阪府内政令指定都市各区「成人の日」行事(主催者名、開催日、場所、主な内容)	大阪市	「みおつきの鐘打鐘のつどい」公募により選ばれた新成人が市庁舎屋上に設置された「みおつきの鐘」を20回打ち鳴らす
				岸和田市	アトラクション団体・地域各団体・職員等約500人が関わる
				貝塚市	新たに成人を迎える者やOBが自ら企画・運営を行うことで、自分たちの成人としての自覚を促し、新たな交流関係を築くことができる
				枚方市	市立中学校19校の体育館で実施することにより、地域全体で新成人を祝福し、新成人が地域との関わりを深めてもらう
28	兵庫県(神戸)	https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20151225_b4c65aa6bca2861049257f2600076dea.html	今回の成人式対象者数、成人式の実施予定状況(実施年月日、実施場所、主催者、参加予定、配布記念品等、主な趣向・プログラム等、担当課、前回対象者人数、前年同期比)	—	—
29	奈良県(奈良)	http://www.pref.nara.jp/16274.htm	担当課、実施月日、新成人数、会場名、会場の所在地、行事の特色等、昨年度新成人数	奈良市	歴代新成人代表、該当年度、次世代、社会人有志で「実行委員会」を設立し、企画運営する
				天理市	新成人代表者と中学3年生当時の担任教諭代表者として組織された実行委員会を設置し、成人記念式の企画・運営を行う
				山添村	新成人一人ずつが抱負を話す。また、小学校・中学校の恩師を招待し、同窓会のように和やかに進める
30	和歌山県(和歌山)	発見できず。	—	—	—
31	鳥取県(鳥取)	http://db.pref.tottori.jp/pressrelease2.nsf/webview/586767C0E3C66B9349257E8F0024C4C4?OpenDocument http://db.pref.tottori.jp/pressrelease2.nsf/webview/22FA95CED443CF9249257F10002D5C6A?OpenDocument	期日、会場、該当者数、問い合わせ先(担当者)、近年の成人式該当者数の推移(夏・冬の合計)	—	—
32	島根県(松江)	http://www3.pref.shimane.jp/houdou/press.asp?pub_year=2015&pub_mont_h=12&pub_day=11&press_cd=7515B709-D2E2-461D-92F2-6E434CEFCFA9	成人式の対象数、成人式の期日、成人式に取り入れる内容、記念品、実施主体、対象者の年齢基準、会場、住所、対象者の変遷、内容・記念品	海士町	町出身者や、町内で活躍する方たちからの応援メッセージ

添付資料
各都道府県の平成27年度成人式調査結果一覧

県番号	都道府県名 (県庁所在地)	掲載場所	調査内容	市町村	特長
33	岡山県(岡山)	http://www.pref.okayama.jp/site/16/302104.htm	対象者数、過去5年間の対象者比較、対象者の多い市町村、参加対象範囲、実施期日、実施場所、記念行事、成人式企画運営への青年の参加状況	—	27市町村中21市町村で成人式企画運営への青年の参加あり
34	広島県(広島)	http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/seijin.siki.html	新成人者数、実施期日、実施場所、記念行事概要、記念品等、特色ある内容の成人式を実施する市町村数、特色ある内容の成人式を実施する市町、広島県の新成人者数の推移、平成27年度各市町の成人式に係る連絡先	安芸高田市	地元で活躍している20歳代の方3名に、安芸高田市で頑張っていること、取り組んでいることを話していただく
				熊野町	選挙に興味を持たせる意味も含めた模擬選挙の実施。選挙テーマは「もっとアピールしたい熊野町の魅力は？」とし、三者択一方式とし、若者の熊野町の将来像を確認し、今後のまちづくりに活かす
				広島市	実行委員(18歳~22歳)によるアトラクション企画・運営、公募による運営ボランティア(高校生相当年齢の人)、近隣中学校の生徒有志による運営補助、会場近くの公園に新成人が出身中学校ごとに集まることができる同窓会コーナー、国歌斉唱や記念品については、市内の音楽専攻や芸術専攻の学生が演奏やデザインを担う
35	山口県(山口)	http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/press/201512/032966.html	主催・(共催)、問い合わせ先、期日、時間、会場、会場所所在地、男性・女性・合計、主要記念行事、記念品、企画運営組織、組織構成メンバー、協力団体、協賛行事、その他参考事項	光市	企画運営組織は新成人、ボーイスカウト指導者、オリエンテERINGクラブ、BBS会、青年会議所、青少年ボランティア育成協議会、若者有志、専門技術者(舞台技術者・フリーアナウンサー等)、中学生リーダー、ジュニア(高校生)リーダーで構成
36	徳島県(徳島)	http://www.pref.tokushima.jp/docs/2015120800148/	会場、実施日・時刻、成人式該当者数、行事内容、新成人の企画運営への参加、特色ある取組等、備考	—	—
37	香川県(高松)	http://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir4/dir4.1/dir4.1.1/wptwi15121113651.shtml	期日、時間、場所、案内する成人該当者数、主な内容	—	—
38	愛媛県(松山)	http://ehime-c.esnet.ed.jp/shougai/	期日	—	—
39	高知県(高知)	http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401/seijinsiki.html	主な内容、例年と変わった企画や記念品等、日時、会場、成人式参加対象者数(住民票による対象者数)、実施団体	—	—
40	福岡県(福岡)	http://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/27seijin.html	成人式対象者数(見込)、成人式実施年月日、成人式参加対象者生年月日、主催者、記念品、講演会等を予定する市町村とその内容	—	記念品一人当たり予算額 平均1,565円
41	佐賀県(佐賀)	発見できず。 平成26年度より http://www.pref.saga.lg.jp/web/kisha/_85156/_85757.html	新成人数、成人式の日程、新成人を含む実行委員会の設置について、その他、新成人数の推移、新成人数と中学校卒業時人数の比較と推移、平成27年成人式日程一覧、主催、共催、後援、開催日、開始時間、終了時間、会場、会場所在地、式典プログラム、記念行事(新成人のみ)、記念行事(一般)、記念品、新成人を含む実行委員会の有無、新成人(男・女・総計・著名人、県内で功績を残した者)	—	成人式の開催に当たっては、38会場のうち20会場で新成人を含む実行委員会が設置されています。新成人の実行委員は、公募や中学校時代の生徒会役員、出身中学校からの推薦などで選定され、実行委員会が式典の全ての運営をすところや、式典を二部制にし、第2部を新成人で企画・運営するところなどがあります
				吉野ヶ里町	佐賀県で行っている418(しあわせいっぱい)プロジェクトの一環として、結婚や子育てについて考えるきっかけづくりにしてもらいショート劇の上演が予定されています
42	長崎県(長崎)	http://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/219808/	男、女、計、月日、開始時刻、会場名・住所、主催者(役職・氏名等)、行事概要、担当課、備考	長崎市	市内の中学校から推薦されて集まった「成人式実行委員会」による、「厳肅であたたかみのある」成人式作りを目指す。担当を各係に分け係での活動も自主的に日程調整しながら開催し、企画立案や啓発ポスター、ネットCM作成など、各係へ割り振られた仕事に自主的に取り組み、またそのような活動を通じて、実行委員会参加者のみならず、ポスターやネットを介した啓発活動を知っていただくことで、実行委員会に参加していない新成人にも社会的意義を認識させる(他、佐世保市、諫早市等で、成人式の意義に触れている)
43	熊本県(熊本)	http://kyouiku.higo.ed.jp/shougai/page4339/	主管課等、対象者(男・女・計・出生年月日)、対象者選出の資料、実施年月日、実施場所、特色ある取組等	熊本市	小学生ハンドベル演奏
				玉名市	案内はがきの色など、細部まで実行委員にて決定
				玉東町	20歳の歯科検診
				和水市	町内小・中学生代表者による新成人者への「お祝いの言葉」発表
				南小国市	新成人30秒スピーチ
				錦町	一人一言近況報告スピーチ

添付資料

各都道府県の平成27年度成人式調査結果一覧

県番号	都道府県名 (県庁所在地)	掲載場所	調査内容	市町村	特長
44	大分県(大分)	http://www.pref.oita.jp/soshiki/13255/27sejinsiki.html	期日、開催場所、男・女・合計、主管部局、対象者、特色ある行事(予定)	大分市	成人記念集会実行委員会(新成人より公募)を組織。式典前のアトラクションとして、新日鐵住金大分吹奏楽団による演奏。式典では、「二十歳のふれあいトーク」と題し、市長、実行委員2名、ゲストにより、夢や大分市についてトークを行う。その他、祝福のメッセージ(ボーイスカウト・ガールスカウト)、「20年間のあゆみ(VTR上映)」等を実施。いこいの道広場では、「出会い・ふれあい交流広場」を開設し、「思い出・記念の広場」「実行委員企画コーナー」等を実施
				国東市	実行委員会あり。構成団体は成人者の中より集める。集めるのは成人者が高校3年生のときに呼びかけ募集する
45	宮崎県(宮崎)	発見できず。	—	—	—
46	鹿児島県(鹿児島)	https://www.pref.kagoshima.jp/ba07/271217h28sejinsiki.html	平成28年新成人の数、成人式実施期日、平成28年成人式各市町村から特色ある内容として紹介があったもの、平成28年成人式調査集計<新成人者数、開催日及び開催場所>	志布志市	新成人者全員のエンドロール放映
				錦江市	成人式出欠用はがきに成人者の一言メッセージを記入し、式当日会場で掲示後、本人又は親族へ渡す
				奄美市	高校生ボランティアが大島紬を着用し受付を担当。実行委員が各種紬の日イベントに参加
47	沖縄県(那覇)	発見できず。	—	—	—

『親の力』をまなびあう学習プログラム
中学・高校生などの青少年に対応した新規教材について
～多様な場での活用法～

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 里本佳子

調査研究の概要

本調査研究は、平成 27 年度に開発した中学・高校生などの青少年に対応した新しい教材を多くの学校等で活用してもらうための方策について検討することを目的としている。

平成 20 年度から、広島県では「家庭教育支援」のツールとして『親の力』をまなびあう学習プログラム（以下「親プロ」という。）ワークシート（教材）の開発と普及により講座が全県で展開され、各市町において学びの輪が広がっている。近年では、主に保護者を対象とした教材の開発を行ってきたところである。しかし、平成 26 年度に行った調査から、「親になる前に子育て体験がある人は 3 割であり、この体験がある人ほど子育ての悩みや苦手意識が少ない」という結果が明らかになった。このことを踏まえ、今年度は、学識経験者、有識者からなる懇談会を設置し、開発に当たって意見をいただきながら、中学・高校生などの青少年に対応したワークシートの開発を行った。既に、広島県では中学・高校生などの青少年を対象とした教材を 4 種類（アレンジ版を含む。）開発しており、それらの内容は、「妊娠について考える」、「親への感謝の気持ちをもつことについて考える」などとなっている。しかし、これらの教材の開発後、7 年程度経過し、例えば「子育ては家族だけで行うものではなく、社会あるいは地域全体で行うもの」という考え方も生まれている。こうしたことを踏まえ、社会の状況変化に対応した内容の教材を開発することとした。また、この教材の開発に当たっては、「中学校や高等学校等でも活用できるもの」という視点で考察を行い、その中で得られた知見を現在既にある教材の活用にも生かしていくこととした。

実際にこの教材を活用してもらう際には、まず、どんな場面で活用すると効果的なのかを生徒を指導する側の方に理解してもらう必要がある。この教材のねらいを踏まえて、「いつ、どこで、だれを対象に、どのように」進行していくか、教育課程のどの部分に関連づけられるかなどの綿密な打ち合わせが必要となる。試行段階での生徒たちの学習後の感想は、約 9 割の生徒が肯定的にとらえている。参加型学習により自分の幼い頃を思い出し、将来親になるかもしれないという立場を考え、社会の一員として生きていくことについて考えることは、生徒たちにとって有意義な時間となったようである。今後、この新規開発教材を市町の家庭教育担当課の理解を得て学校や社会教育施設等で活用していただくよう働き掛けを行い、中学・高校生などの青少年の学びの輪が広がることで、市町の家庭教育支援事業が活性化され、その効果が更に県内全域に浸透していくことが期待できると考える。

調査研究の構成

- 1 中学・高校生など将来親になる世代に対応した教材開発の経緯
- 2 中学・高校生など将来親になる世代に対応した教実施の現状と課題
- 3 今後の具体的な活用について
- 4 多様な場面での活用について
- 5 参考文献

「『親の力』をまなびあう学習プログラム」
中学・高校生などの青少年に
対応した教材について
～多様な場での活用法～

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 里本 佳子



研究の目的



中学・高校生などの青少年に対応した参加体験型のプログラムの取組の現状と課題、新規教材の開発の在り方について調査研究を行い、このプログラムの在り方と多様な場での活用法について考察し、家庭教育支援として普及させていく方向性を見出すことを目的とする。



目次

- 1 中学・高校生などの青少年に対応した教材開発の経緯
- 2 中学・高校生などの青少年に対応した教材実施の現状
- 3 具体的な活用について
- 4 多様な場での活用について
- 5 参考文献

1 中学・高校生などの青少年に対応した教材開発の経緯

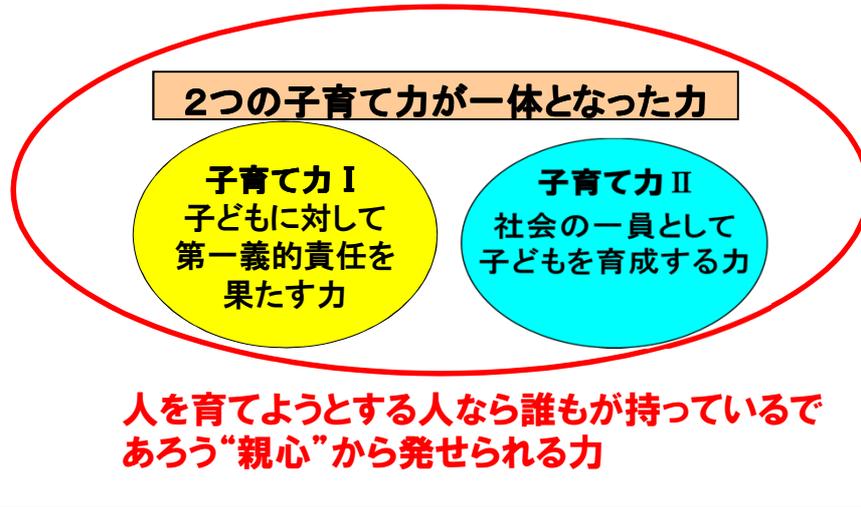
(1)「親プロ」の概要

- ・親の親としての“育ち”を支援する
- ・「親学習プログラム」が注目
- ・先行的に主に欧米を中心に開発・実施
- ・日本向けにアレンジされて導入

【例】 Nobody's Perfectプログラム
(完璧な親なんていない)【カナダ】
Positive Parenting Program
(トリプルP) 【オーストラリア】

1 中学・高校生などの青少年に対応した教材開発の経緯

(2)このプログラムでいう「親の力」とは・・・



1 中学・高校生などの青少年に対応した教材開発の経緯

(3)子育ての四段階

段 階	対 象
子育て準備期	中学・高校生など青少年, まもなく親になる人
子育て前期	0歳児の親～小学校3年生の親
子育て後期	小学校4～6年生, 中学・高校生の親
子育て支援期	中高年など子育て支援者

学習のすすめ方



ワークシート(教材)



1 中学・高校生などの青少年に対応した教材開発の経緯

(4) 学習形態

奇って、話して、自ら気づく「参加型」

講演を聴くなどの従来の「講義型」の学習方法



参加者が“学びの主体”となる「参加型」の学習方法

子育てを振り返り学びあう中で、親が「自ら気づき」「自ら学べる」力を！

★このプログラムに「正解」はありません。

うちとける



簡単なゲームを通じてリラックスした雰囲気に。

話し合う



思いや意見をグループで出し合い、考えを広げます。

気づく



話し合いをふりかえり、「気づき」が生まれます。

1 中学・高校生などの青少年に対応した教材開発の経緯

- ・ 現在既にある4種類の教材の内容は、「妊娠について考える」、「親のありがたみについて考える」などとなっている。
- ・ 平成26年度に行った調査から、「親になる前に子育て体験がある人は3割であり、この体験がある人ほど子育ての悩みや苦手意識が少ない」という結果が明らかになった。プログラム開発後、7年程度経過し、社会の状況変化に対応できる内容の教材を開発する必要性が出てきた。

2 中学・高校生などの青少年に対応した教材プログラム実施の現状

(1) 中学・高校生向けプログラム

「親の力」をまなびあう学習プログラム～寄って、話して、自ら気づく～
全体のわらいく自由の子育てを振り返り学び合うなかで、親が「自ら気づき」「自らまなべる」力を高める。

段階 <ねらい>	対象 <ねらい>	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
【プログラム一覧表】 「自分の親は将来の自分」期 (子育て準備期) <small><自分の親子関係を振り返ったり、親となる自分を想像することで、これからの自分の生き方を考える。></small>	「親はウルサイけどアリガトウ」 編 <small><親の立場を想像しこれまでの自分を振り返ることで、これから親となるであろう自分の生き方を考える。></small>	1	おぎやーってスゴイ! <small><卵を自分の子どもに見立て、命の大切さと、親として命に関わることの責任の重さを実感する。></small>
		2	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～ <small><自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。></small>
		3	おや! おや? ～自分のあゆみと親のかかわり～ <small><「自分史」を作るなかで親との関係を振り返り、将来どんな親になりたいかを考える。></small>
		4	親になるって!? ～命を授かる責任と喜び～ <small><子どものいる生活を想像し、親になる心構えを持つ。></small>
		5	妊娠期のカラダとココロ ～パートナーの理解と協力～ <small><妊娠期の女性の体と心の変化を理解し、男女の相互理解と支え合いの大切さを考える。></small>
		6	出産は初めの一歩! <small><これから始まる子育て生活への心構えや態勢づくりについて考える。></small>

2 中学・高校生などの青少年に対応したプログラム実施の現状

(2) 実施数(広島県立河内高等学校の場合)

年度	月	日	実施場所	実施者	実施人数	実施回数	実施内容					
24	7月	1日	三ツ城コ	三ツ城コミュニティハウス	大学生と地域の方	10	24	中				
									25	1日	10	24
									25	2日	10	24
									25	26日	10	24
26	11月	30日(木)	東広島市	三ツ城コ	三ツ城コミュニティハウス	大学生と地域の方	10	24	中			
		1日(土)	東広島市	県立河内高校	県立河内高校	2年生生徒・保護者	62	26	「学校へ行こう週間」の取組としてLHRで実施			
		12日(金)	東広島市	県立河内高校	県立河内高校	1年生生徒	76	2	LHRで実施			
		27日(火)	三原市	県立総合技術高校	県立総合技術高校	1年生生徒	39	2	「発達と保育」の授業の中で実施			
計						505						

【実施例】

平成26年 広島県立河内高等学校

「学校へ行こう週間」の取組

教科:「LHR」

対象:保護者6人と2年生普通科生徒56人

教材:「No26ケータイ!うちではどうする?」
～考えてみて、我が家流のつき合い方～

中で実施

【広島県立河内高等学校での感想】

今回の講座で、スマホの事例についていろいろ考える中で、親の気持ちが分かったような気がします。

スマホの使用について、ルールがあった方が良いということが分かりました。家族とのコミュニケーションは大事！



【生徒】



【生徒】



【保護者】

・子供たちの思いや考え方もわかって良かったです。
 ・子供たちと一緒に参加できて、今までは自分の子だけの意見しか分らなかったのですが、他の子がどのように考えているのか、いろいろな子供の意見が聞けてとても参考になりました。

2 中学・高校生プログラム実施の現状

(3)実施数（広島県立総合技術高等学校）

過去3年間に実施した中学・高校生・大学生を対象とした「親プロ」講座								
年度	期日	市町	実施機関・団体等	場所	対象	受講者人数	教材番号	備考
24	7							
25	2							実施 「発達と保育」の授業の中で実施
26	11月1日(土)	東広島市	県立河内高校	県立河内高校	1年生生徒	62	26	「学校へ行こう週間」の取組としてLHRで実施
	12月12日(金)	東広島市	県立河内高校	県立河内高校	1年生生徒	76	2	LHRで実施
	1月27日(火)	三原市	県立総合技術高校	県立総合技術高校	1年生生徒	39	2	「発達と保育」の授業の中で実施
計						505		

【実施例】

平成26年度 広島県立総合技術高等学校

教科:「家庭科～発達と保育～」

対象:人間福祉課1年生40人

教材:2 親しらず 子しらず
 ～親子関係を振り返る～

【広島県立総合技術高等学校での感想】

「子どもは守られる存在なので、守ってあげたいです。」
「社会に通用するルール・マナーを教えないといけないこともわかりました。」
「愛情を与えてあげることが大切ということがわかりました」



【生徒】

今日は楽しい雰囲気の中で自分の親子関係を振り返ることができ、よかったですと思います。時にはこういう形態での授業も入れてみようかと思っています。



【担任の先生】

2 中学・高校生などの青少年に対応したプログラム実施の現状

(4) 成果

- 子供の思いや考えを聞くことにより、新たな気づきの発見ができたこと。
- 「親プロ」の形態として、生徒と保護者が同じ会場で講座に参加するという形がとれたこと。
- 生徒と保護者がそれぞれの立場から意見交流を行うことで、お互いの考えを理解し合えたこと。
- 家庭科という教科指導の中でも実施できる内容であることが確認できたこと。

2 中学・高校生などの青少年に対応したプログラム実施の現状

(5) 課題

- 中学・高校生がより興味を持つような内容にしていくこと。
- 中学・高校生は、学校を中心として生活していることから授業時間内で使用できる内容にしていくこと。
- 学校で行う場合は、授業時数の確保の問題や年間計画の中の位置付けについても考慮してもらう必要があること。

3 具体的な活用について

(1) 新規開発教材ワークシート(1P・2P)



「親の立場になって考えてみよう」
「地域のことを考えよう」
「(自分の)地域の中での関わりを振り返ろう」
「地域の中で子供を育てる」を切り口にしてはどうか。

3 具体的な活用について

(2) 新規開発教材ワークシート(3P・4P)

ゴール 読まほしがる

① この物語を参考にしながら、あなた自身が書いた、あなたのこと、あなたの気持ち、あなたの考えを表現することを通して、読者の気持ちと自分の気持ちを共有しよう。

② この物語を参考にしながら、あなた自身が書いた、あなたのこと、あなたの気持ち、あなたの考えを表現することを通して、読者の気持ちと自分の気持ちを共有しよう。

学習目的 本が読者の感情と結び、自分から読者の感情へ触れる。

内容 本が読者の感情と結び、自分から読者の感情へ触れる。

学習内容 本が読者の感情と結び、自分から読者の感情へ触れる。

学習目的 本が読者の感情と結び、自分から読者の感情へ触れる。

- ・大人の目線ではなく、中学・高校生目線のエピソードにした。
- ・感情を表すことが難しい年齢である中学・高校生にとって、心を開いて話しやすい問いかけにした。

3 具体的な活用について

(3) 新規開発教材 試行実施一覧

市 町	月 日	時 間	場 所	対 象(受講者数)	ファシリテーター
広島市	1月10日(月)	9:55~11:45(95分)	ステップアップ研修(西郷)	ファシリテーター 37名	地方 遊理子委員 林 幸江委員
三次市	2月2日(水)	1:30~1:45(15分) 【2学期(1回)同時開催】	広島市立五中中学校 【総合学習学習者の時間】	中学生1・2学年 (54名)	熊本 由徳美委員 行政 智美委員
福山市	2月7日(月)	9:55~11:45(95分)	ステップアップ研修(東郷)	ファシリテーター 18名	熊本 由徳美委員 行政 智美委員
北広島市	2月8日(火)	14:00~15:30(95分)	県立加計高等学校 五中分校 【ロングホームルーム】	高校生1・2学年全員 43名	行政 智美委員
呉市	2月10日(木)	14:25~15:15(50分)	呉市立五中中学校 【学級活動】	中学生2学年2学期合同 (44名)	林 幸江委員
広島市	2月14日(月)	9:10~10:00(50分)	広島経済大学 【講義】	大学生 (16名)	地方 遊理子委員
広島市	2月16日(水)	14:20~15:10(50分)	安田女子高等学校 【志願生】	高校生1学年 (44名)	吉玉 福江委員
東広島市	2月17日(木)	8:35~12:30 【110分×2学期】	県立加計高等学校 五中分校 【選考】	中学生1・2学年 (73名)	吉玉 福江委員
府中町	2月16日(水)	9:10~10:20(50分)	萩高府中高学習センターOPのきプラザ	県立安高府中高校2学年 放課後子供教室ボランティア 11名	市田 珠美委員
広島市	2月20日(日)	14:00~14:30(30分)	広島市青少年センター	教育ボランティア 高校生1~3学年 6名	地方 遊理子委員
三次市	1月6日(水)	9:10~10:00(50分)	県立三光高等学校 【生徒会】	高校生1・2学年 6名	行政 智美委員
東広島市	2月17日(水)	14:00~15:00(60分)	三ツ屋コミュニティハウス	広島大学3・4年生 放課後子供教室ボランティアメンバー 5名	吉玉 福江委員

3 具体的な活用について

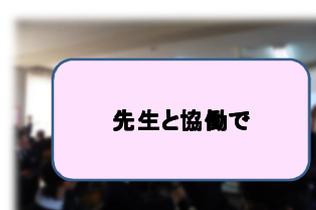
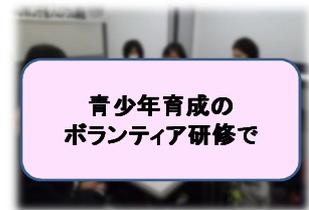
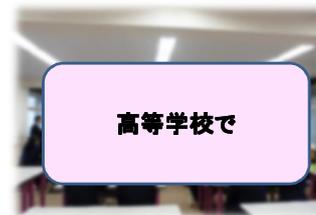
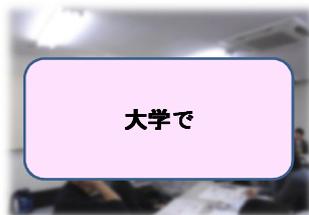
(4) 活用の機会

・学校 ・社会教育施設等

【家庭科】(安田女子高等学校)
【総合的な学習】(三次市立三次中学校)
【特別活動】「LHR」
(呉市立両城中学校)(広島県立加計高等学校芸北分校)
【道徳】(東広島市立高美が丘中学校)
【生徒会】(広島県立三次高等学校)
【広島経済大学】: 大学1年生
【安芸郡府中町内放課後子供教室ボランティア】
広島県立安芸府中高等学校生徒(1, 2年)
【広島市青少年センター内保育ボランティア】
広島市内高等学校生徒(1~3年)
【東広島市放課後子供教室ボランティア】
メイプルみっつ広島大学3, 4年生

3 具体的な活用について

(5) 活用の様子



4 多様な場での活用について

(1) 生徒のアンケートから

Q1 子育てしやすいまちってどんなまち？～みなさんができることは何かな～の内容について理解することができましたか。

Q2 子育てしやすいまちをイメージすることができましたか。

Q3 グループ交流では、楽しく話をすることができましたか。



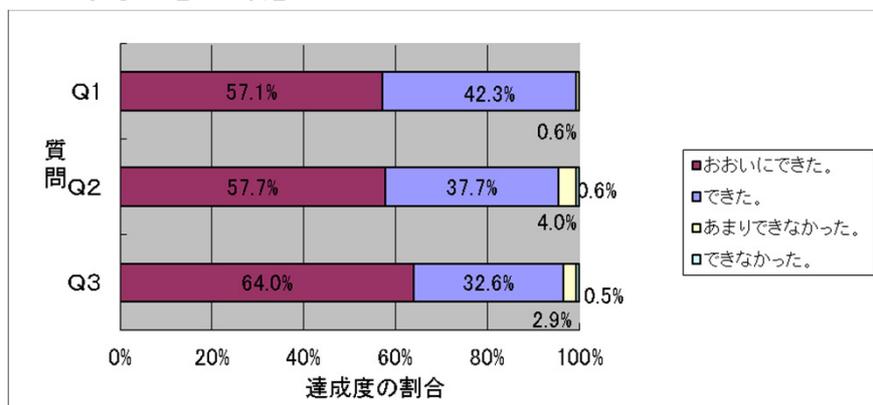
みんなの意見を聞きながら話すことができて、楽しかった。

子育てをする人の立場を考えることができた。

4 多様な場での活用について

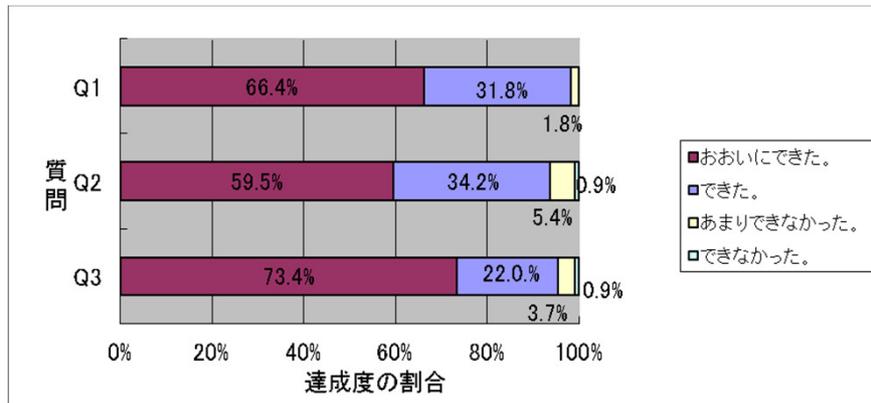
(1) アンケート結果

中学生【175名】



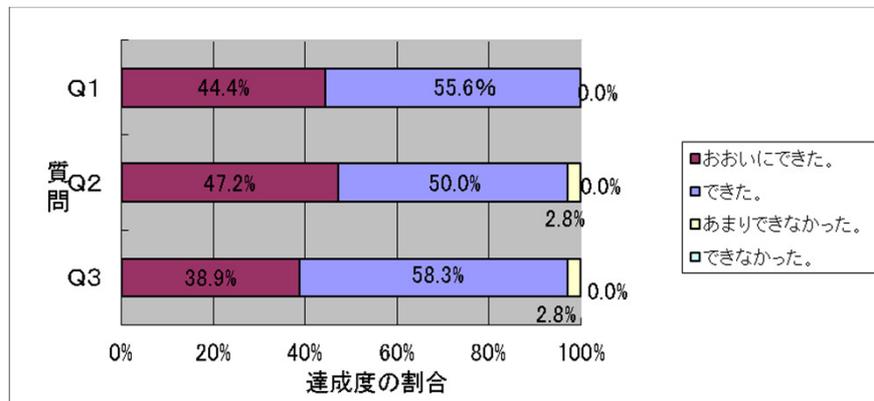
4 多様な場での活用について

高校生【110名】



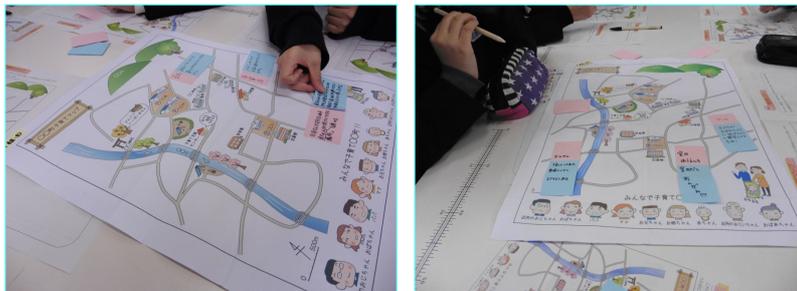
4 多様な場での活用について

大学生【36名】



4 多様な場での活用について

(2) ファシリテーターの感想から



- ・生徒に子育てのイメージを持ってもらう工夫。
(写真や子育ての話など)
- ・子供の頃を振り返ってもらう工夫。
(子供の頃の思い出の話など)

4 多様な場での活用について

(3) 成果

- ・ 地図を参考にして、自分の幼い頃を思い出しながら、自分自身を振り返ることができたこと。
- ・ 生徒同士で話し合いながら、将来自分が子育てをするイメージを持ち、地域みんなで助け合いながら子供たちに関わっていくことが大切であることに気付いてもらうことができたこと。
- ・ 地域を切り口にしたねらいなので、「家庭科」「総合的な学習の時間」「道徳」「特別活動」など、多様な教科で扱ってもらうことができたこと。
- ・ 担当の先生から、『他教科で学習したことを「親プロ」の参加型学習で生かすことができた。また、意見交流の場では普段の学習では見られない生徒の表情を見ることができた』という評価をいただけたこと。

4 多様な場での活用について

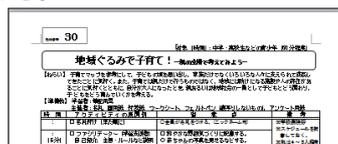
(4) 課題

- 子育てそのものは大変ではあるが、一方で楽しいものであることに気付いてもらうことが難しかったこと。
- 将来子育てをした時に一人ではなく、地域には子育ての助けになる施設や子育てを助けてくれる人がいるということに気付いてもらうことが難しかったこと。
- 中学・高校生がより興味を持つような内容にしていくこと。
- 中学・高校生は、学校を中心として生活していることから授業時間内で使用できる内容にしていくこと。
- 学校で行う場合は、授業時数の確保の問題や年間計画の中の位置付けについても考慮してもらう必要があること。

4 多様な場での活用について

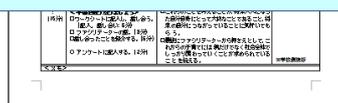
(5) 活用の方向性

展開例の工夫



・生徒に子育てのイメージを持ってもらう工夫
(写真や子育ての話など)

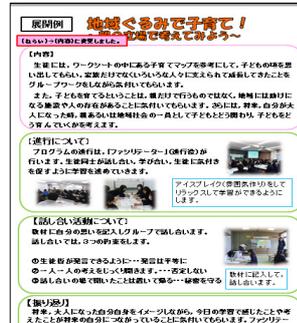
・子供の頃を振り返ってもらう工夫
(子供の頃の思い出の話など)



4 多様な場での活用について



(6) 広報用リーフレット(案)



地域ぐるみで子育て～親の立場になって～というテーマは、地図を参考にして幼頃の自分を思い出して話をする親しみやすい内容です。

グループワークを通して自己理解、他者理解が深まります。自分の考えが認められることで、自己肯定感が高まります。

5 参考文献

- ① 広島県立生涯学習センター研修コンテンツ「ファシリテーター養成講座」
- ② 松田愛子「『親の力』をまなびあう学習プログラム」を持続可能な取組としていくために～ファシリテーターの果たす役割を中心に～」広島県立生涯学習センター調査研究報告書、平成24年
- ③ 平成27年度第2回「親の力」をまなびあう学習プログラム」ファシリテーターステップアップ研修「現代の中学・高校生の家族に関する学びと子育て観について」講義資料 広島県立教育センター 指導主事 小樹 由美 平成27年9月28日(月)、10月2日(金)
- ④ 中学校学習指導要領 文部科学省
- ⑤ 高等学校学習指導要領 文部科学省
- ⑥ 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 特別活動編 総合的な学習の時間編 文部科学省
- ⑦ 高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 文部科学省
- ⑧ 中学校教科書(開隆堂)
- ⑨ 高等学校教科書(教育図書)(第1市学習社)(東京書籍)(開隆堂)
- ⑩ 国分康孝「エンカウンターで学級が変わる」図書文化2012
- ⑪ 千葉県高等学校教育研究会家庭部会、家庭教育推進委員会「あんころ」教育図書(2014)

「親の力」をまなびあう学習プログラム 中学・高校生向け 「地域の中で子供を育てる」



～青少年の主体的な学びを応援します～

広島県教育委員会では、家庭の教育力の向上を目指して、「『親の力』をまなびあう学習プログラム」(通称「親プロ」)を活用した学習機会の充実に取り組んでいます。このプログラムは、これから親になろうとする若い世代から子育て真っ最中の方、中・高年齢層の方までみんなが寄って、話すという参加型学習で、「まなびあう」ことによって、自らの気づきをさらに伸ばしてほしいという願いが込められています。



Q1. 学習内容は？

【楽しく話し、聞いて納得する 参加型体験学習】

講義を聴くなどの学習方法



生徒が「学びの主体」

生徒が話し合い
知恵を出し合い、
お互いに学び合う

自分と親との関係や、自己理解と他者理解や自己肯定感の向上を図ります。
さらには、自分の将来について考えます。



Q2. 進行は、誰がするの？

【養成講座を修了した ファシリテーターが進行】

参加者自らの気づきや学ぶ力を引き出し、皆が平等に発言できるようにします。

ワークシートを使って学習します。当日の進め方については、短時間で事前に先生方と相談しながら授業の流れを決めていきます。

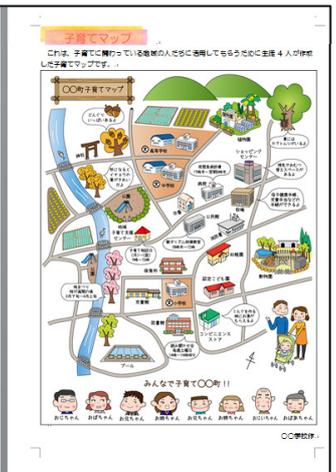


【講座を受けた生徒の声】

- 友だちの意見を聞くことができ、自分と同じような考えがあることがわかりました。
- 自分と親との関係を考えることができました。
- これから親になるかもしれないのでその時のことを考えることができました。

【講座を実施した教師の声】

- 他教科では見られない生徒の姿を客観的に見ることができました。
- ファシリテーターの進行の仕方が授業に生かせそうでした。



「『親の力』をまなびあう学習プログラム」講座についてのお問い合わせは **今すぐこちらまで！**

広島県立生涯学習センター TEL：082-248-8848

メール：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

H P：http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/または各市町の「家庭教育担当課」へお問い合わせください。



展開例

地域ぐるみで子育て！ ～親の立場で考えてみよう～

【内容】

生徒には、ワークシートの中にある子育てマップを参考にして、子どもの頃を思い出してもらい、家族だけでなくいろいろな人々に支えられて成長してきたことをグループワークをしながら気付いてもらいます。

また、子どもを育てるということは、親だけで行うものではなく、地域には助けになる施設や人の存在があることに気付いてもらいます。さらには、将来、自分が大人になった時、親あるいは地域社会の一員として子どもとどう関わり、子どもをどう育てていくかを考えます。

【進行について】

プログラムの進行は、「ファシリテーター」(進行役)が行います。生徒同士が話し合い、学び合い、生徒に気づきを促すように学習を進めていきます。



アイスブレイク(雰囲気作り)をしてリラックスして学習ができるようにします。

【話し合い活動について】

教材に自分の思いを記入しグループで話し合います。話し合いでは、3つの約束をします。

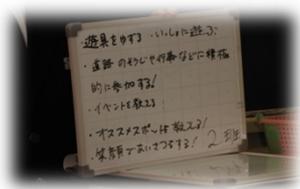


- ①生徒皆が発言できるように…発言は平等に
- ②一人一人の考えをじっくり聞きます。…否定しない
- ③話し合いの場で聞いたことは置いて帰る…秘密を守る

教材に記入して、話し合います。

【振り返り】

将来、大人になった自分自身をイメージしながら、今日の学習で感じたことや考えたことが将来の自分につながっていることに気付いてもらいます。ファシリテーターがこれからの子育てには、親だけでなく社会全体でしっかり関わっていくことが求められていることを伝えます。



社会教育委員の役割と取組について ～社会教育委員の活動の活性化に向けて～

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 柳川 明美

調査研究の概要

本調査研究では、全国及び広島県内の社会教育委員の設置状況と活動状況、研修の状況や課題等を整理分析することで、社会教育委員として求められる役割、当センターとしてできる支援の方策を模索することを目的としている。

近年、核家族化や、共働き家庭の増加、村落における過疎化・高齢化の進行、ライフスタイルの多様化などにより、地域社会における人間関係の希薄化、家庭・地域の教育力の低下等の問題も取りざたされて久しい。このような状況にあつて、地域住民の意向を行政に反映させることを意図して設置されている社会教育委員の制度、社会教育委員一人一人の果たす役割にかかる期待は大きいと考えられる。

一方で、地域によっては、「社会教育委員の会議が形骸化している」「社会教育委員が名誉職の充て職になっている」「社会教育委員の制度が十分機能していない」などの声もささやかれており、社会教育委員の役割・機能が必ずしも十分に果たされているとは言い難い状況があるのではないかと考える。

そこで、本研究では、まず、社会教育委員に関する法令から、社会教育委員の規定と、社会教育委員の制度を整理し、次に、各種調査から全国及び県内の社会教育委員の設置状況と活動状況を整理比較する。県内の社会教育委員の活動状況については、23市町の担当課に調査票を配布し、得た回答も参考とした。そして、それらの状況も踏まえて社会教育委員に期待されることや役割を明確にする。さらに、特色のある取組をしている社会教育委員の事例として、北海道空知管内「よんまちネット由南長栗（ゆな～く）」、広島県三次市の実践を紹介する。最後に、課題と今後の方向性をまとめる中で、県内各市町の社会教育委員の活動の活性化に向けて、県の生涯学習センターとして、今後、支援できることを明確にしていきたい。

調査研究の構成

テーマ設定の理由

- 1 社会教育委員について
- 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について
- 3 社会教育委員に期待されること
- 4 特色ある取組事例
- 5 課題と今後の方向性

参考文献，ヒアリング日時等

社会教育委員の役割と取組 について

～社会教育委員の活動の活性化に向けて～

【目的】

社会教育委員の役割や、社会教育委員に求められることを整理し、積極的に社会教育委員としての取組を行っている方の事例を紹介することで、県内の社会教育委員活動の今後の方向性を示したい。

広島県立生涯学習センター
社会教育主事 柳川 明美

テーマ設定の理由

地域社会における人のつながりの希薄化、家庭・地域の教育力の低下がいわれる中、社会教育委員の果たす役割への期待は大きい。

一方で、地域によっては、「社会教育委員の形骸化」「社会教育委員は名誉職」「社会教育委員の制度は十分機能していない」などの声も聞かれ、社会教育委員の役割・機能が必ずしも十分に果たされているとは言い難い状況があるのではないかと考える。

そこで、社会教育委員に求められる役割、研修の状況や課題等を整理分析することで、当センターとしてできる支援の方策を模索することを通して、県内の社会教育委員の活動の活性化に向けた一助になればと思い今回の調査研究テーマを設定した。

目次

テーマ設定の理由

- 1 社会教育委員について
 - 2 社会教育委員の設置状況・活動状況について
 - 3 社会教育委員に期待されること
 - 4 特色ある取組事例
 - 5 課題と今後の方向性
- 参考文献, ヒアリング日時等

1 社会教育委員について

- (1) 社会教育委員の規定
- (2) 社会教育委員制度

1 社会教育委員について

(1) 社会教育委員の規定

●社会教育委員の設置（社会教育法第15条）

「都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。」（第1項）

「社会教育委員は，教育委員会が委嘱する。」（第2項）

1 社会教育委員について (1) 社会教育委員の規定

●社会教育委員の職務（社会教育法第17条）

社会教育委員は，社会教育に関し教育委員会に助言するため，次の職務を行う。

- 一 社会教育に関する諸計画を立案すること。
 - 二 定時又は臨時に会議を開き，教育委員会の諮問に応じ，これに対して，意見を述べること。
 - 三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は，教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。
 - 3 市町村の社会教育委員は，当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について，社会教育関係団体，社会教育指導者その他関係者に対し，助言と指導を与えることができる。

1 社会教育委員について（1）社会教育委員の規定

●社会教育委員の委嘱の基準等（社会教育法第18条）

社会教育委員の委嘱の基準，定数及び任期その他社会教育委員に関し**必要な事項は，当該地方公共団体の条例**で定める。この場合において，社会教育委員の委嘱の基準については，文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

1 社会教育委員について（1）社会教育委員の規定

●広島県の条例（広島県生涯学習審議会条例）

第7条 審議会に，次の各号に掲げる分科会を置く（以下略）。

- 一 社会教育分科会
- 二 （略）

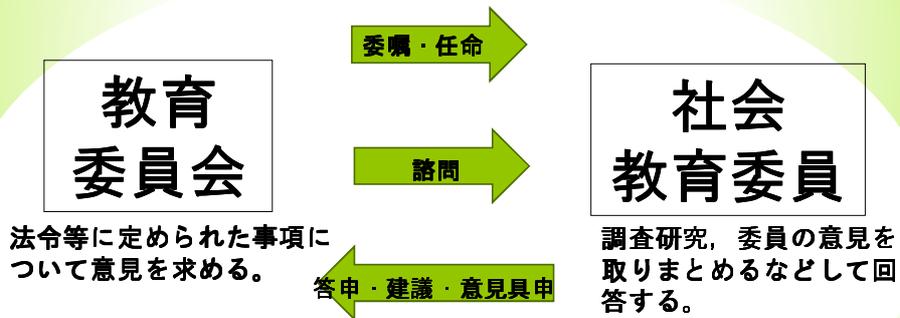
2 各分科会の委員の定数は，**15人以内**とする。

3 社会教育**分科会の委員**は，社会教育法第15条第1項の規定により置く**広島県社会教育委員**とし，広島県社会教育委員の定数は前項の委員の定数と，**任期は2年**とする。

4 前項の広島県社会教育委員は，**学校教育及び社会教育の関係者，家庭教育の向上に資する活動を行う者又は学識経験のある者**でなければならない。

1 社会教育委員について

(2) 社会教育委員制度



2 社会教育委員の設置状況・活動状況について

(1) 設置状況

①全国

②県内

(2) 活動状況

①全国

②県内

(3) 調査等から見てきたこと

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (1) 設置状況 ①全国

e-Stat 政府統計の総合窓口 2013年3月29日公表より

社会教育委員・社会教育関係指導員の設置状況

区分	計			都道府県		
	計	男	女	計	男	女
都道府県・市町村教育委員会数	1,805	47
設置教育委員会数	1,749	46
計	20,272	13,341	6,931	686	365	321
社会教育委員						
委員数						
学校教育関係者	3,309	2,857	452	114	66	48
社会教育関係者	8,706	5,768	2,938	244	131	113
家庭教育の向上に資する活動を行う者	2,004	649	1,355	91	11	80
学識経験者	6,253	4,067	2,186	237	157	80
上記のうち青少年教育に関する特定の事項についての指導助言をする社会教育委員	2,531	1,727	804

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (1) 設置状況 ①全国

e-Stat 政府統計の総合窓口 2013年3月29日公表より

社会教育委員・社会教育関係指導員の設置状況

区分	計	市(区)		町		村		組合				
		男	女	計	男	女	計	男	女			
都道府県・市町村教育委員会数	809	746	183	20
設置教育委員会数	788	735	170	10
計	10,394	6,705	3,689	7,773	5,268	2,505	1,313	932	381	106	71	35
学校教育関係者	1,503	1,277	226	1,374	1,224	150	286	262	24	32	28	4
社会教育関係者	4,535	2,973	1,562	3,398	2,306	1,092	478	329	149	51	29	22
家庭教育の向上に資する活動を行う者	1,029	308	721	731	260	471	146	68	78	7	2	5
学識経験者	3,327	2,147	1,180	2,270	1,478	792	403	273	130	16	12	4
上記のうち青少年教育に関する特定の事項についての指導助言をする社会教育委員	1,461	964	497	932	655	277	135	106	29	3	2	1

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (1) 設置状況 ①全国

○社会教育委員の設置は任意だが、都道府県**98%**、市**97%**、町**99%**、村**93%**、全体の平均は**97%**であり、いずれも**100%近く**が設置をしている。このことは、社会教育委員の役割への期待の大きさを表しているといえる。

○全国の社会教育委員数は、2010年の前回調査と比べると、21,366人から20,272人と1,094人減り、全体の約**5%減**であるが、委員の設置率は、若干(**約1%**)高くなっている。人数の減少は、市町村合併等に起因することが考えられる一方で、設置率の増加から、社会教育委員に対する必要感の高まりが伺える。

○委員の内訳を見ると、学校関係者、社会教育関係者、学識経験者である委員数が減っているにもかかわらず、**家庭教育の向上に資する活動を行う者**が、前回調査比で**約4%増**である。このことは、特に市において**約16%増**となっており、顕著に表れている。社会全体で子育てを応援し、家庭の教育力向上の取組に対する機運の高まりが考えられる。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (1) 設置状況 ②県内

広島県立生涯学習センターHP「ばれっとひろしま」より平成27年5月1日現在

市町名	社会教育委員数(人)			任期		設置条例	
	合計	男性	女性	始期	終期	定数(人)	任期
	広島市	19	6	8	平成26年10月1日 平成27年2月1日	～ 平成27年9月30日 平成29年1月31日	20
呉市	24	15	9	平成26年7月1日	～ 平成27年6月30日	24	2年
竹原市	12	9	3	平成26年6月1日	～ 平成27年5月31日	16	2年
三原市	16	7	8	平成26年7月1日	～ 平成27年6月30日	15	2年
尾道市	14	8	6	平成26年6月1日	～ 平成27年5月31日	15	2年
福山市	16	12	3	平成26年7月1日	～ 平成28年6月30日	16	2年
府中市	13	9	4	平成26年10月1日	～ 平成28年9月30日	26	2年
三次市	14	8	6	平成26年4月1日	～ 平成28年3月31日	20	2年
庄原市	16	10	6	平成26年10月1日	～ 平成27年9月30日	15	2年
大竹市	11	8	3	平成27年6月1日	～ 平成29年5月31日	20	2年
東広島市	8	6	3	平成27年5月1日	～ 平成29年4月30日	20	2年
廿日市市	17	7	10	平成27年4月1日	～ 平成29年3月31日	27	2年
安芸高田市	12	10	2	平成26年4月1日	～ 平成27年3月31日	18	2年
江田島市	16	6	10	平成27年2月1日	～ 平成29年1月31日	16	2年
府中町	16	7	8	平成27年4月1日	～ 平成29年3月31日	16	2年
海田町	12	9	3	平成26年4月1日	～ 平成28年3月31日	20	2年
熊野町	11	7	4	平成26年11月1日	～ 平成28年10月31日	12	2年
坂町	13	9	4	平成27年4月1日	～ 平成29年3月31日	16	2年
安芸太田町	14	8	6	平成26年10月1日	～ 平成28年9月30日	15	2年
北広島町	19	14	4	平成26年7月1日	～ 平成27年6月30日	18	2年
大崎上島町	10	8	2	平成26年6月1日	～ 平成28年4月30日	11	2年
世羅町	8	4	4	平成27年4月1日	～ 平成29年3月31日	8	2年
神石高原町	10	9	1	平成26年6月1日	～ 平成27年5月31日	10	2年
合計	310	194	116	—	—	391	—

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (1) 設置状況 ②県内

○県内の市町では、広島県立生涯学習センターが毎年行っている行政基礎調査により、過去5年に遡って見ると100%の設置であり、全国平均を上回っている。これは広島県においても社会教育委員の役割に対する期待、必要感の大きさを表しているといえる。

○一方、委員数を見ると、平成23年333人→平成24年331人→平成25年331人→平成26年322人→平成27年310人と、若干減り続けている。平成23年度と平成27年度の委員数を比べると、約7%減となっている。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ①全国

<都道府県社会教育委員の会議による答申・内容>

(平成20-24年度の5年間)

○社会教育委員会議による

答申を行った→18都道府県 (39.1%)

答申の件数 →25件

内容

- ・学校・家庭・地域の連携や地域社会、地域づくりに関する答申 (11件)
- ・社会教育全般に関する答申 (4件)
- ・社会教育委員に関する答申 (3件)
- ・生涯学習の振興・推進に関する答申 (2件) など

※広島県平成22年度

～文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」より～

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ①全国

<市町村の社会教育委員の会議による答申・内容>

○社会教育委員の会議による (平成20-24年度の5年間)

答申を行った→**22都道府県**の市町村
答申の件数→**76件** 各年度の平均→**15.2件**

内容

- ・公民館の振興に関する答申 (15件)
- ・社会教育全般に関する答申 (13件)
- ・市町村立社会教育施設に関する答申 (13件)
- ・生涯学習の振興・推進に関する答申等 (10件)
- ・学校・家庭・地域の連携や地域社会, 地域づくりに関する答申 (8件) など

～文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」より～

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ①全国

<連合体の設置>

都道府県において社会教育委員の連合体は47県において48の連合体が設置されており, **すべての県で設置**されている。
※広島県社会教育委員連絡協議会

<都道府県協議会等の活動>

総会回数...年1回 **39団体 (84.8%)**

年2回 7団体 (15.2% ※広島県)

研修回数...年1回 **29団体 (63.0% ※広島県)**

年2回 **16団体 (34.8%)** 年3回 1団体 (※島根県)

<その他の活動>

- ・支部・ブロックごとの研修 **33団体 (76.7%)**
- ・記録誌・報告書の発行 **16団体 (37.2% ※広島県)**
- ・視察・見学・訪問等 **12団体 (27.9%)**

～文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」より～

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

「社会教育委員の活動等に関する調査」

調査の方法

各市町の社会教育委員に関する事務を所掌する担当課に調査票（次の頁）を送付，調査を依頼し，社会教育委員の活動等に関する調査を行った。

（平成27年12月）

※県内23市町に依頼→内23市町からの回答

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

＜調査票の様式＞

＜調査票＞ 担当者：所属（ ） 名前（ ）

【質問票について注まるものに○をしてください。また、具体的な内容等について簡明にお書きください。

11 貴市町の教育委員会では、過去3年間に社会教育委員に諮問を行いましたか。
 はい（ ） いいえ（ ）
 「はい」と答えた方に伺います。諮問を行った年度、諮問内容を簡単に教えてください。

年度	諮問内容

12 貴市町の社会教育委員は過去3年間に調査研究を行っていますか。
 はい（ ） いいえ（ ）
 「はい」と答えた方に伺います。調査研究を行った年度、内容を簡単に教えてください。

年度	調査研究内容

13 貴市町では、今年度、社会教育委員が参加している研修はありますか。
 はい（ ） いいえ（ ）
 「はい」と答えた方に伺います。次の中から、参加している研修に該当するものすべてに○をつけてください。

- 1 全国社会教育委員会、広島県社会教育委員連絡協議会が開催する研究会
- 2 その他の社会教育関係団体（PTA・公民館等）が開催する研究会
- 3 貴市町が開催する社会教育関係者を対象とした研修会
- 4 貴市町が開催する新任の社会教育委員を対象とした研修会や学習会
- 5 その他（ ）

14 貴市町で、社会教育委員対象の研修を行うとした場合に、どんな内容の研修が必要だと思いますか
 該当するものすべてに○をつけてください。

- 1 社会教育委員の役割
- 2 貴市町内の社会教育関係団体間の連携の形成
- 3 先進的な社会教育事業に関する情報
- 4 社会教育行政施策や事業の地域への普及
- 5 まちづくり・地域づくりへの貢献
- 6 家庭・地域の教育力向上に関すること
- 7 家庭・学校・地域をつなぐパイプの役割
- 8 その他（ ）

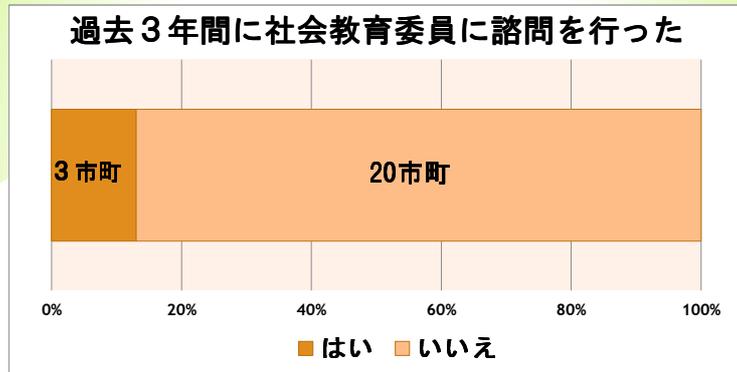
15 貴市町の社会教育委員の活動について、お考えを次からお選びください。

- 1 現状のままよい
- 2 課題を感じているが、改善の必要はない
- 3 課題を感じており、改善が必要だと思うができていない
- 4 課題を感じており、改善のための取組を行っている

16 その他お気づきの点がありましたら、自由に記述してください。

～「社会教育委員の活動等に関する調査」～

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

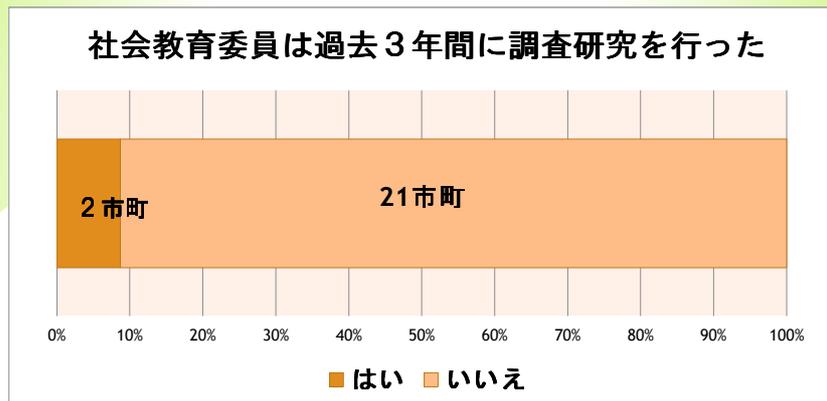


市町による諮問内容

- ・市におけるこれからの生涯学習の推進方策について等 (5件)

ほとんどの市町で、過去3年間に社会教育委員に対する諮問が行われていない。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

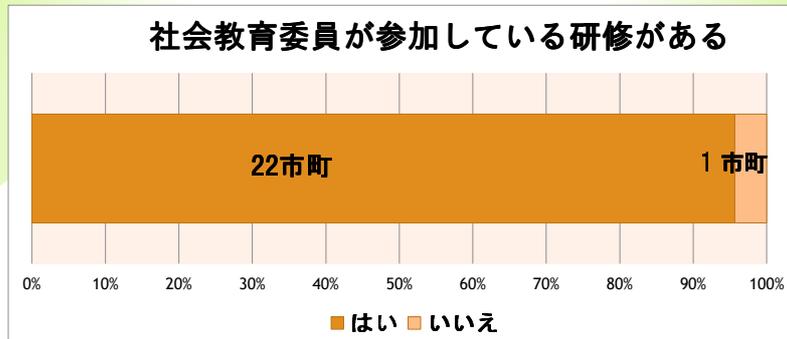


調査研究の内容

- ・より良い生涯学習の姿を目指して (アンケート)
- ・家庭教育 (2か年)

ほとんどの市町で、過去3年間に調査研究が行われていない。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

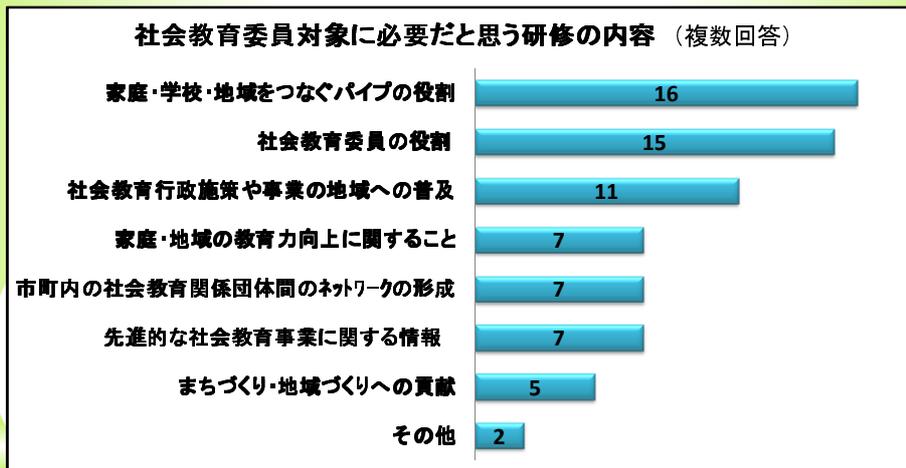


研修の種類

- ・全国社会教育委員連合、広島県社会教育委員連絡協議会が実施する研修会 (20)
- ・その他社会教育関係団体が実施する研修会 (5)
- ・市町が実施する社会教育関係者を対象とした研修会・学習会 (3)
- ・その他自主研修など (4)

ほとんどの市町で社会教育委員が参加する研修があると回答した。主に広島県社会教育委員研修会であった。中には、県外の研修にも参加したり、自主研修を行っている市町もあった。

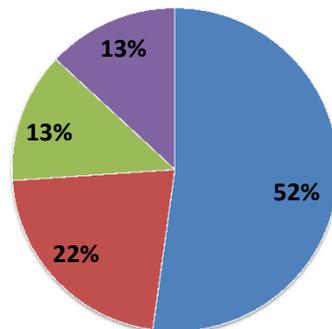
2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内



70%が「家庭・学校・地域」をつなぐパイプの役割、次に65%が「社会教育委員の役割」、48%が「社会教育行政施策や事業の地域への普及」について研修が必要との回答があった。その他として「他地域の活動事例」「ファシリテーション力」などの回答があった。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

市町の社会教育委員の活動に関する考え



- 課題を感じており、改善が必要だと思うができていない
- 課題は感じているが、改善の必要はない
- 課題を感じており、改善のための取組を行っている
- 現状のままでよい

87%が、社会教育委員の活動に関する課題を感じている一方で、改善のための取組を行っているという回答は13%にとどまる。22%は、課題改善の必要はないと感じている。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について (2) 活動状況 ②県内

<市町担当課から課題として挙げられた声>

- 市町において社会教育委員の認知度が低い。
- 担い手不足がある。
- 途中でやめられる方もおり全体として在任期間が短い方が多く、長期にわたってじっくり取り組んでもらうことが難しい。
- 家庭・学校・地域をつなぐ役割の部分が弱い。
- 各種団体の代表などとの横の連携が図られていない。
- 教育委員会の中で教育委員と社会教育委員の関わりが分かりにくい。
- 制度として十分機能しているとは言い難い。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について

(3) 調査等から見えてきたこと

広島県内の社会教育委員の設置状況は、設置率が過去5年間に遡って見ると100%であり、県内各市町とも、社会教育委員の組織がしっかりと存在している。県の連合体としての広島県社会教育委員連絡協議会の活動内容も全国の他の組織と比較すると十分な内容となっている。

活動状況について見てみると、「社会教育委員に対して諮問を行った」という市町は少ない。諮問を受けることが、調査研究を行うきっかけとなり得ることから、また、「諮問を行った」と回答した市町の中に、「調査研究を行った」という回答があったことから、このことは「社会教育委員による調査研究を行った」という数値が低いことと相関があると考えられる。市町による諮問が今以上に増えれば、社会教育委員の役割の一つである調査研究を行う市町も増え、同時に調査研究のためには協議等を重ねる必要も出てくるため、委員としての取組が活発に行われるきっかけにもなると思われる。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について

(3) 調査等から見えてきたこと

研修について見てみると「参加している研修がある」に「いいえ」の回答をしたのは1市町で、その市町は、過去を遡ると、県の研修に複数人での参加があることからこの項目は、ほぼ全ての市町が何らかの研修の機会を持っていると考えられる。

一方で、参加しているとの回答の約70%が全国社会教育委員連合・広島県社会教育委員連絡協議会が実施する研修会であり、市町で地域の実態に応じた内容の研修を実施できている市町は約9%と少なかった。

必要だと思う研修内容について、70%が「家庭・学校・地域」をつなぐパイプの役割、65%が「社会教育委員の役割」、48%が「社会教育行政施策や事業の地域への普及」と回答。「社会教育委員の役割」については、社会教育委員の研修会での参加者アンケートの回答と重なる部分であり、市町担当課・社会教育委員共に、研修の必要性を感じているということが分かる。

2 社会教育委員の設置状況・活動状況について

(3) 調査等から見てきたこと

市町の社会教育委員の活動について、9割近くの市町担当課が、社会教育委員の活動に関して課題を感じている一方で、改善のための取組を行っているという回答は1割強に留まる。課題を感じつつも、優先順位の問題、予算の関係その他の事情から、課題を感じつつ改善に向けた具体的な行動を起こせないでいる状況が見受けられる。

また、「課題はあるが改善の必要はないと感じている」が2割強、「現状に満足している」が1割強となっている。

3 社会教育委員に期待されること

3 社会教育委員に期待されること

○家庭・学校・地域をつなぐパイプの役割

～多様な協働的關係でのコーディネートの役割～

○家庭・地域の教育力向上に関する積極的な貢献

～学習課題の発見～

○住民の意向を行政や施策の運営に反映させるためのパイプの役割

～個人的立場からの意見具申～

○地域の社会教育に関するネットワークの形成

～平成18年度国立教育政策研究所社会教育実践研究センター「社会教育委員の職務等の実態に関する調査研究報告書」より～

3 社会教育委員に期待されること

元気な社会教育委員

「学ぶ人」

活動に必要なあらゆる分野について学ぶきっかけ
学ぶことは全ての委員にとって大切

「話す人」

社会教育委員は自らの意見を話すためにいる
地域と行政を結ぶパイプ役として、関わる全ての人の代弁者

「伝える人」

取組や成果をより広く、多くの人に知ってもらうために伝えることを役割とする

「自ら考え行動する社会教育委員に！」

社会教育委員が地域社会教育の「元気の素」になるために、滋賀大学社会連携研究センター教授 神部純一
平成25年一般社団法人全国社会教育委員連合「社教情報」より

4 特色ある取組事例

- (1) 北海道 空知管内
「よんまちネット由南長栗（ゆな〜く）」
の実践
- (2) 広島県 三次市
「行動する社会教育委員をめざして！」
森川幸郎さんの実践

4 特色ある取組事例

(1) 北海道空知管内「よんまちネット由南長栗（ゆな〜く）」の実践

平成24年、人口減等により地域の課題解決が単町では困難な状況を打破するため、由仁町、南幌町、長沼町、栗山町の4町の社会教育委員によって「よんまちネット由南長栗（ゆな〜く）」を設立。

- ・各町間のネットワークを構築
- ・自主研修の企画運営を通して必要な学習機会の創出
- ・4町の行政職員（社会教育主事）による助言・サポートを得る
- ・学識経験者をオブザーバーとし、継続的な指導・助言を仰ぐ
- ・4町の委員が主体的に取り組めるよう、会議・研修は持ち回り

○北海道内では、各市町単独の研修会、全道規模の研修会、管内ごとの研修会が行われており委員活動の充実に寄与している。社会教育委員の主体的な取組によるものだが、活動を支えるキーパーソンとしての、学識経験者や社会教育主事による支援や活躍が感じ取れる。即戦力となり、積極的に活動できるような委員を公選により選出していることも取組の充実に繋がっている。

～文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」より～

4 特色ある取組事例

(2) 広島県 三次市「行動する社会教育委員をめざして！」

市の社会教育委員会議議長である森川幸郎さんは、形骸化した社会教育委員の活動から脱皮し、行動する社会教育委員となるべく、組織的な改革の必要性を感じ、委員の在り方から見直しを行う。

- ・社会教育委員の意識改革と組織活動
- ・家庭教育支援への取組 2年間で提言書をまとめる目標を設定
- ・取組の活性化のための様々な工夫

委員会議を2グループに分け、少人数での活発な意見交換
委員同士の懇親を大切にし、関係づくりに努める。

家庭教育支援の大切さについて、市や教育委員に働きかける
機会を設定。

事務局との連携を密に行う。

○取組に当たって、森川さん自らが市の担当者と県立生涯学習センターを訪れ相談を行う。取組の方向性を見定め市担当者と連携を図りながら進めた。

4 特色ある取組事例

(2) 広島県 三次市「行動する社会教育委員をめざして！」



リーフレット「三次の子育て5か条」

4 特色ある取組事例

(2) 広島県 三次市「行動する社会教育委員をめざして！」



ポスター 「三次の子育て5か条」

4 特色ある取組事例

○市社会教育委員14名が、調査研究、協議を進め、市内の小学3年生と中学2年生の保護者を対象にアンケートを実施。それらの結果を踏まえてまとめた、提言書「家庭の教育力向上にむけて」を平成27年12月18日に市教育委員会に提出。また、併せて作成されたリーフレット「三次の子育て5か条」を、市内の小中学校、保育所を通じて保護者に配布した。その後、病院や郵便局等、人が多く集まる場所に掲示するためにポスターも作成し、社会教育委員自らが配布した。リーフレットを受け取った市内の保護者からは「内容が簡潔で分かりやすい」「温かみがある」などの反応があり好評という。

○提言書提出、リーフレット作成後の取組の具体については、新年度に委員の改選があるため、新しいメンバーで協議、決定していく予定だという。取組内容についての青写真はすでに森川さんの中にある。

○このような取組を通して、社会教育委員と学校との連携が深まり、まさに「行動する社会教育委員」を実践されている。森川さんを中心とした三次市の社会教育委員の皆さんの、今後の活躍に注目したい。

5 課題と今後の方向性

5 課題と今後の方向性

今回、社会教育委員の取組について調査研究を行って分かったことは、「社会教育委員の課題としてよく挙げられる、答申・建議が出されていない、調査研究費が少ない、研修機会は年2,3回程度で予算がない、社会教育委員の会議は不活発、教育委員会と必ずしも関わりがあるとはいえないなどのことは、広島県内の市町も例外ではない」ということである。

一方で、社会教育委員の活動が活発な市町に見られることとして報告されている、「教育委員会事務局の担当者は意欲的である、社会教育委員に意欲がある人・多彩な人物などが（社会教育委員として）選ばれている、社会教育委員による研究調査がされている、教育委員会が社会教育委員の会議の提言などを重視している」などのことは、広島県内で社会教育委員による活動が活発な傾向にある市町にも共通している特徴となっていると思われる。

5 課題と今後の方向性

社会教育委員としての役割をしっかりと認識し、行動に移すリーダーが存在している市町の社会教育委員の活動は充実していることから、社会教育委員は決して名誉職ではなく、自ら考え行動する社会教育委員になること、「学び」「話し」「伝え」ようという意識を自覚してもらうことの必要性を感じる。

また、社会教育委員の意識とともに、市町担当課・職員の理解と連携が合わさった時に、社会教育委員の果たす役割の充実度は加速度的に高まるものとする。

これらは、必ずしもどちらが先でなければならないということはない。一方で、社会教育委員の会議の組織の仕組みから考えて、事務局としての市町行政側の社会教育委員に対する働き掛け方に対する意識変革の必要性を感じる。

5 課題と今後の方向性

＜今後、センターとして＞

○市町への働きかけ

市町訪問などを通して、市町担当職員が、社会教育委員活動に関する理解と意識を高めていくよう働き掛ける。

○研修の充実

社会教育委員の皆さんに、自ら考え行動する社会教育委員への目覚めを促すために研修の内容を充実させる。

社会教育委員の皆さんのニーズをつかみ研修内容に反映させることで研修会への参加率を上げる。

研修の中で、交流の場をできる限り設定し、各地域の社会教育委員同士のネットワークの構築を目指す。

参考文献

- ①国立教育政策研究所社会教育実践教育センター「社会教育委員の職務等の実態に関する調査研究報告書」平成19年4月
- ②文部科学省委託調査研究平成25年度「生涯学習政策に関する調査研究」「コミュニティ形成に寄与する社会教育推進体制に在り方に関する課題研究」平成26年3月
- ③いわての生涯学習2010研究報告「社会教育関係職員・委員を対象とする研修の充実方策に関する調査研究」
- ④大正大学教授・鎌倉社会教育委員会議長 蛭田道春「社会教育委員制度の推移からみたその今日的課題と方向」社会教育2014年4月p22-26
- ⑤香川県教育委員会香川県社会教育委員の会「社会教育委員ハンドブックみわーく」平成23年3月
- ⑥文部科学省一般社団法人全国社会教育委員連合「ご存知ですか？わたしたちのまちの社会教育委員さん！」
- ⑦志々田まなみ「平成24年度広島県社会教育委員研修 第1分科会社会教育委員の役割」平成24年
- ⑧広島県立生涯学習センター「平成26年度江田島市社会教育関係研修会」平成26年
- ⑨第31期 新潟県社会教育委員の会議「社会教育委員の手引き～行動する社会教育委員を目指して～」平成24年
- ⑩ e-Stat 政府統計の総合窓口 2013年3月29日 <https://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>
- ⑪広島県立生涯学習センターHP「ばれっとひろしま」 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>
- ⑫社団法人全国社会教育委員連合「社会教育委員のためのQ & A」平成22年
- ⑬滋賀大学社会連携研究センター教授 神部純一「社会教育委員が地域社会教育の「元気の素」になるために―「学び」「話し」「伝える」社会教育委員になろう―」社教情報№69 平成25年9月
- ⑭常葉学園大学教育学部教授 上條秀元「社会教育委員の今日的役割」社会教育 2012年6月p14-19
- ⑮東京家政大学大学院教授 山本和人「社会教育の進捗に向けた行政からの委嘱委員への期待」社会教育2012年6月p6-12
- ⑯島根県立東部・西部社会教育研修センター「しまねの社会教育だより」vol.5 2010年9月
- ⑰島根県立東部・西部社会教育研修センター「しまねの社会教育だより」vol.19 2015年3月
- ⑱広島県社会教育委員連絡協議会「社教ひろしま」№62 平成28年2月
- ⑲三次市教育委員会文化と学びの課 明賀 眞佐子主任 平成28年3月17日ヒアリング実施

放課後子供教室と学校との連携について ～子供たちが生き生きと活動できる居場所づくりを目指して～

広島県立生涯学習センター
専門員 毛利 洋子

調査研究の概要

今後、広島県内の放課後子供教室の活動をより一層充実させるためには、学校とより綿密に連携していく必要がある。そこで本調査研究では、県内全市町の放課後子供教室の担当者を通じてその実態について情報収集を行い、工夫している点や好事例などについて分析を行った。さらに、県内でも特に学校と放課後子供教室の連携が充実し、活動が活発化している学校の全教職員を対象としたアンケートを実施し、そこから見えてきた連携をめぐる課題と今後の方向性について提案する。

子供たちの放課後対策について文部科学省では、「次世代の学校・地域」創生プランを策定し、放課後子供教室等の地域組織が基盤となって、未来を担う子供たちの成長を支え合う地域をつくる活動の創造と、安心して子育てできる地域環境の整備に着手しようとしている。また、そこでは、子供も大人も自らの多様な経験や技術を生かし学び合える教育体制の充実も求められており、「一億総活躍社会」の場としての放課後子供教室の活動の在り方も検討されようとしている。

しかしながら学校では、日々の業務量の多さや負担感もあり、まだまだ、教職員の放課後子供教室に対する理解は不十分で、地域は学校を支援するものという考えが根強く残っている。

広島県においても、平成 19 年度に放課後子ども教室推進事業が創設されて 8 年が経過しているが、その活動内容や運営方法については、市町により様々である。地域によっては、事業に対して学校現場の理解が不十分で、連携がとれていない等の実態がある。

そうした中で、地域の大人たちが自分たちの力で楽しく子供たちを育てていく手段として、放課後子供教室があることを念頭に、放課後子供教室の活動が充実している学校に、教職員の連携についての意識調査を行い、どんな仕組み作りがあって、どうすれば連携がうまくいくのかを考えていく一助として情報提供をすることで、どの学校（地域）でも放課後子供教室を推進し、活動が活発になるように調査研究を行った。

調査研究の構成

- 1 はじめに <テーマ設定の理由と目的>
- 2 放課後対策による最近の国の動向
- 3 放課後子供教室の県内の実施状況
- 4 学校との連携についての状況
- 5 学校との連携がうまくいっている教室事例
- 6 課題と今後の方向性
- 7 参考文献，引用文献等

放課後子供教室と学校との連携について

～子供たちが生き生きと活動できる居場所づくりを目指して～

広島県立生涯学習センター
専門員 毛利 洋子



もくじ

- 1 はじめに
- 2 放課後対策による最近の国の動向
- 3 放課後子供教室の県内の実施状況
- 4 学校との連携についての状況
- 5 学校との連携がうまくいっている教室事例
- 6 課題と今後の方向性
- 7 参考資料・引用文献等

1 はじめに

<テーマ設定の理由と目的>

文部科学省は平成19年度から、学校・家庭・地域と連携して、放課後などに子供たちに学習や様々な体験・交流活動等の機会を提供するため、放課後子供教室を推進している。

平成26年度には、全国の公立小学校の51%に11,991教室が開設されて、年々増加してきており、取組の効果が高まり、学校・家庭・地域の協働体制の構築や地域とともにある学校づくりが進んできているといえる。

広島県ではその活動内容や運営方法については、市町により様々であり、地域によっては、学校との連携や情報共有など十分でないなど課題があり、事業に対して学校現場の理解が得られていない等の実態がある。

こうした中で、学校とうまく連携している教室の中から2事例について提示し、これを踏まえ、どの学校（地域）でも全ての子供たちにとって充実した放課後子供教室の活動が展開されて行くとともに、学校を核とした地域力強化のための仕組みづくりを進めていく一助としたい。

2 放課後対策における国の最近の動向

平成19年度

• 放課後子どもプラン

平成20年度

• 学校支援地域本部事業

平成23年度

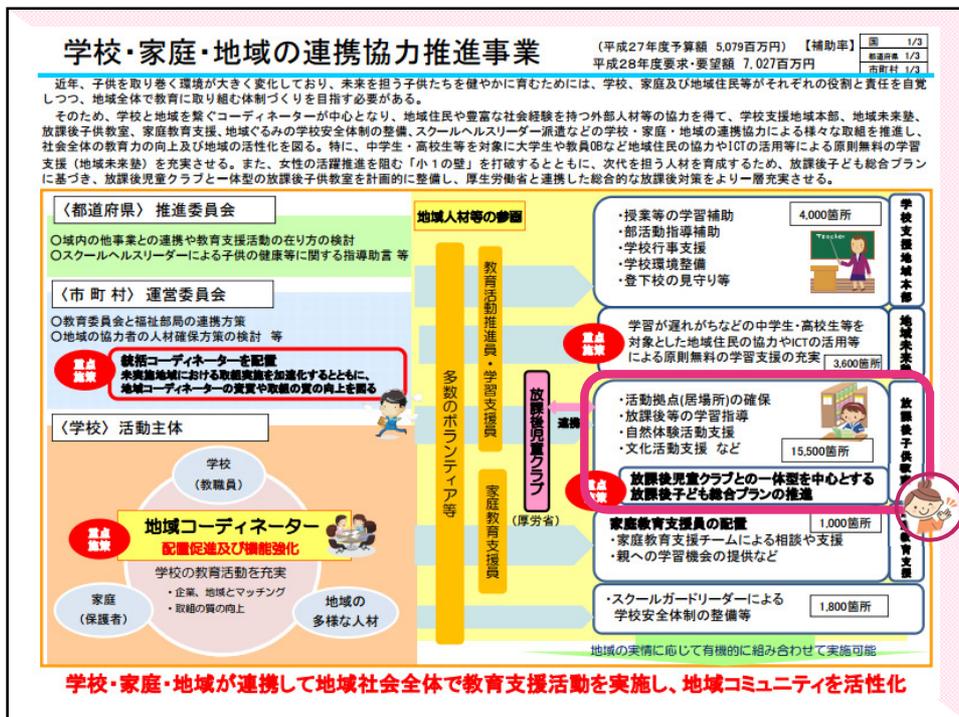
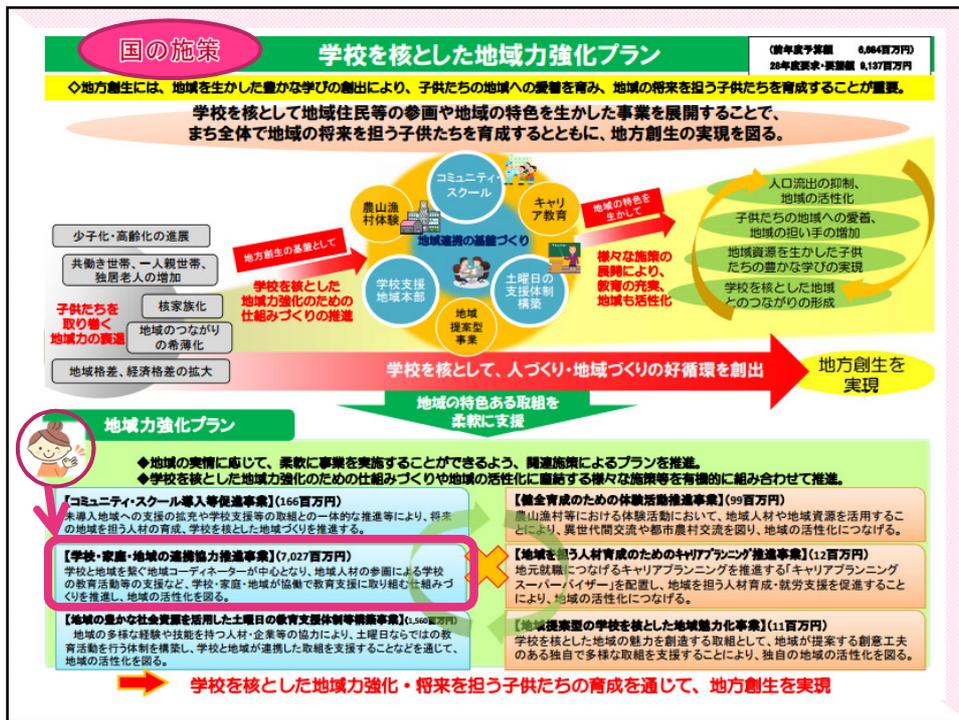
• 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業

平成26年
7月

• 放課後子ども総合プラン

平成28年度

• 学校を核とした地域力協力プラン

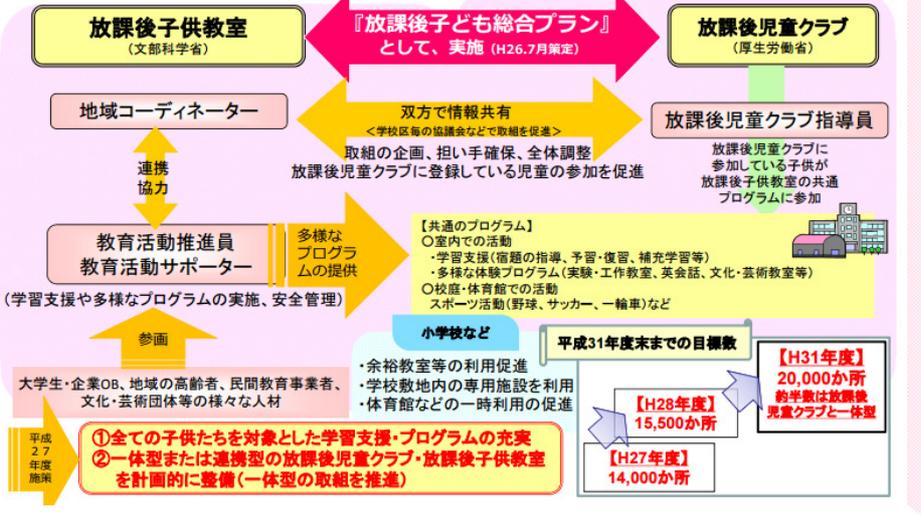


放課後子供教室

～放課後子ども総合プランの推進～

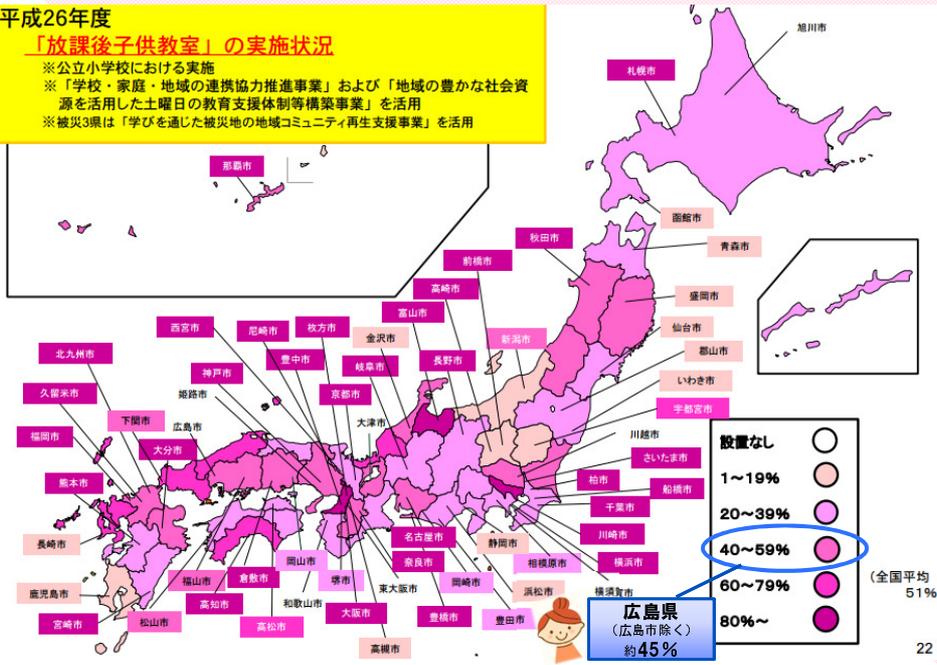
(前年度予算額 5,079百万円の内数) 【補助率】
 平成28年度要求・要望額: 7,027百万円の内数 国 1/3
 学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部で実施 北海道庁 1/3
 市町村 1/3

女性の活躍推進のためには、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、厚生労働省と連携して総合的な放課後対策に取り組むことが必要



平成26年度 「放課後子供教室」の実施状況

- ※公立小学校における実施
- ※「学校・家庭・地域の連携協力推進事業」および「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」を活用
- ※被災3県は「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を活用



3 放課後子供教室の県内の実施状況

(1) 放課後子供教室と学校との連絡調整及び運営状況等

別紙1

市町名	文科省 事業実施 の有無	担当課・室等	H27 教室数	主な活動場所			学校との連絡調整				行動計 画の 策定	設置 要請	主体	運 営 状 況					
				学校	公民館等	市町	学校との連絡調整			活動プログラムの計画等				活動プログラムの実施					
							コーディネーター 等	その他	市町	コーディネーター 等				その他	市町	コーディネーター 等	その他		
広島市	無	青少年育成部 育成課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
呉市	有	文化スポーツ部 文化振興課	2	2	-	○	○			△	○	市	○			○	○		
竹原市	無	まちづくり推進課 文化生涯学習室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三原市	有	教育委員会 生涯学習課	22	22	-	○	○			●	○	市	○			○	○		
尾道市	有	教育委員会 生涯学習課	12	9	3	○	○	○		○	○	市	○	○		○	○		
福山市	有	市民局まちづくり推進部 生涯学習課	39	36	3			○	○		○	市	○	○		○	○		
府中市	有	教育委員会 生涯学習課	4	2	2	○		○		●	○	市	○		○		○		
三次市	有	子育て・女性支援部 子育て支援課	5	3	2					●		委託							
庄原市	有	教育委員会 生涯学習課	8	5	3		○	○		○		委託		○				○	
大竹市	有	教育委員会 生涯学習課	3	1	2	○	○			●		委託	○	○				○	○
東広島市	有	教育委員会 青少年育成課	32	12	20	○	○			○	○	一部委託	○	○		○	○		

市町名	文科省 事業実施 の有無	担当課・室等	H27 教室数	主な活動場所			学校との連絡調整				行動計 画の 策定	設置 要請	主体	運 営 状 況					
				学校	公民館等	市町	学校との連絡調整			活動プログラムの計画等				活動プログラムの実施					
							コーディネーター 等	その他	市町	コーディネーター 等				その他	市町	コーディネーター 等	その他		
廿日市市	無	教育委員会 生涯学習課	4	3	1	○	○				○	市	○	○		○	○		
安芸高田市	有	教育委員会 生涯学習課	1	-	1	○	○			○		委託	○	○		○	○		
江田島市	無	教育委員会 生涯学習課	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
府中町	有	教育委員会 社会教育課	5	5	-	○	○			○	○	町	○	○		○	○		
海田町	有	教育委員会 生涯学習課	2	-	2	○				●	○	町	○	○		○	○		
横野町	有	教育委員会 生涯学習課	2	-	2	○				●		町	○		○	○	○		
坂町	有	教育委員会 生涯学習課	3	3	-	○				△		町	○		○		○		
安芸太田町	有	教育委員会 生涯学習課	4	4	-	○	○	○		○		町	○	○		○	○		
北広島町	有	教育委員会 生涯学習課	4	1	3	○				●	○	一部委託							
大崎上島町	有	教育委員会 社会教育課	3	3	-	○	○			●	○	町	○	○		○	○		
世羅町	有	教育委員会 社会教育課	2	-	2	○				●		町	○		○				
神石高原町	有	教育委員会 生涯学習課	6	-	6	○	○		○	○		町	○	○		○	○		○
計	13		163																

※次世代育成支援対策推進法に基づき市町村行動計画策定状況が、策定済の場合は○、別計画で策定済の場合は●、平成27年度中に行動計画又は別計画を策定予定の場合は△

●平成27年12月21・22・24日●
放課後子供教室市町担当者に電話によりヒヤリング

(2) 学校との連携について

●連携の方法及び工夫している点●

- 校長会等で全体に連絡している。また、校長間でも情報交換をされている。
- 実施場所等の確認などこまめに教頭と連絡をとっている。
- 運営会議（年度当初に1回）や各教室の運営委員会（年に2回程度）などで周知している。
- 担当（管轄）する教室への視察やヒヤリング等を行っている。
- 実行委員会が各学校にある。
- 生涯学習担当者会議（各学校から教諭が出席）で説明している。
- 学校支援地域本部が設置されており、毎月1回会議を開催して学校・地域と連携を図っている。
- 毎月の「教室便り」等で活動の状況を報告したり、行事や下校時刻等の確認や児童の様子を話す機会を設けたりしている。
- 毎月1回、翌月の行事等についての連絡会を開催しており、管理職のほか各学年から1名の教員の参加も得て、児童等の情報交換をしている。



◆連携が難しい点◆

- ◆ 学校内での活動のため、学校教育活動の一環という意識が高く、負担感を感じる部分があり、なかなか受け入れてもらえない。
- ◆ 活動は素晴らしいと思ってもらえる反面、連絡調整等事務量も増えるため、負担に感じている学校もある。
- ◆ 管理職の方針、考えによって、活動が左右される。
- ◆ 人材育成等が不十分で、組織的に横の連携がとれていない。

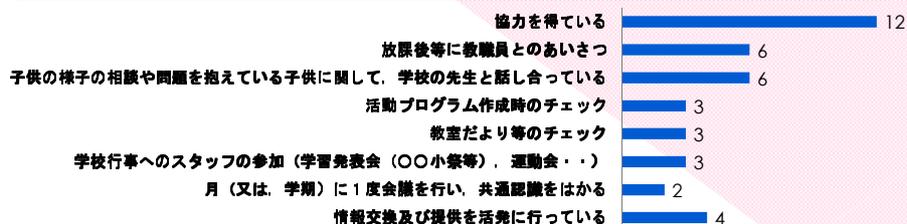


4 学校との連携についての現状

(1) 放課後子供教室と学校との連携に関するアンケート結果から

平成27年度第1回コーディネーター等研修会参加者を対象にアンケート（別紙2）を実施し、各市町の放課後子供教室と学校との連携について調査（平成27年11月26日県内7市町17名のコーディネーター及び市町担当者から回答）

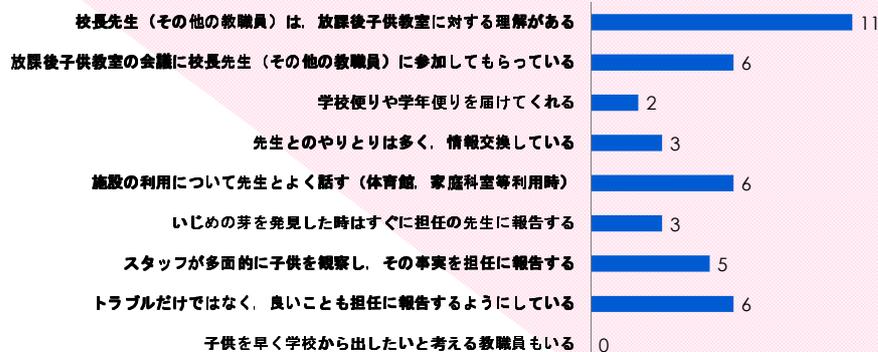
Q1 学校との関わりの現状はどのようなものですか？



<自由記述欄>

- ◎ 活動の様子の見学や募集チラシの配付、回収をしてもらっている。
- ◆ 教室によって、連携ができているところ、そうでないところがある。

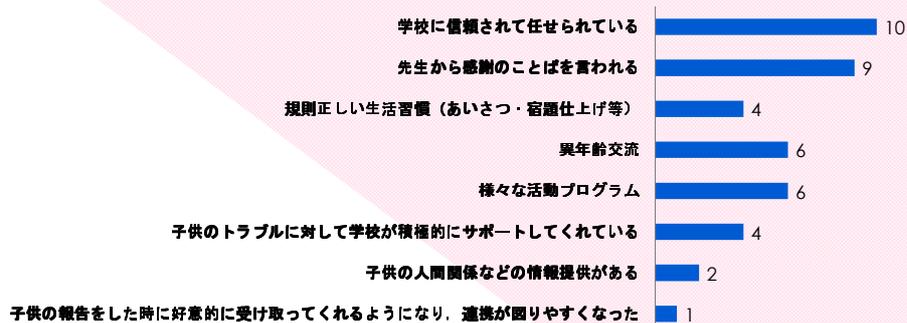
Q2 校長先生、その他の教職員の方々との関わりは？



<自由記述欄>

☺ 子供のトラブルに対して、学校がサポートしてくれるようになってきた。

Q3 学校から期待されていると感じることはありますか、それはどんなことですか？



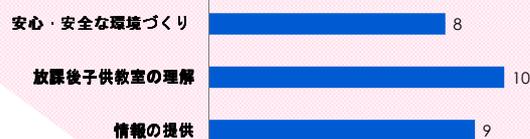
<自由記述欄>

☺ 授業参観などの案内をもらうので学校の様子はよくわかる。

☺ 各学校の担当者会議で放課後子供教室について内容を周知する時間を例年とってもらっている。

◆ 教室によって違う。

Q4 学校に期待することは何ですか？



<自由記述欄>

- ☺ 空き教室等施設の提供。
- ☺ 活動への理解ができてきたので、今後もしっかりと情報提供を行いたい。
- ☺ 今まで以上に連携をとっていききたい。



● アンケート結果から見てきたもの ●

- 活動が充実している教室では、学校との連携のみならず、保護者との連携も進んで行われている。
- 教室によっては、連携状況に温度差がある。
- コーディネーターやボランティアだけでは限界がある。そのため、行政の支援はとても重要である。



5 学校との連携がうまくいっている教室事例

(1) 東広島市 三ツ城わくわく広場

大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」の活用件数が県内で最も多く、けん玉、工作、レクリエーション、ヒップホップダンス、合唱、留学生との国際交流（世界の遊び等）など様々な活動プログラムが定期的に行われている。

また、地域スタッフによるハンドベル、絵手紙、日舞、茶道等の活動を行い、夏休みにはそろばん、ヨガ教室等魅力的なプログラムが実施されている。

年間計画を立てるなど、活動の様子や状況等を学校、地域、家庭にも定期的に情報提供を行うなど連携がうまくいっている。



(2) 尾道市 長江放課後子供教室

子供たちが満足のいくように、毎月、多種多様な活動計画を立て指導員が大変熱心に取り組んでいる。文化活動（茶道など）やスポーツ（卓球など）の通常の活動に加え、季節的な行事を取り入れるなど特徴的な活動を行っている。

毎月、活動状況を報告するために、「ここにこ便り」を作成し、学校、保護者等関係者に配付し、常に情報発信に努めている。

地域、学校等との連携を密に行っており、非常に良好な関係を保っている。

平成27年度 優れた「地域による学校支援活動」文部科学大臣表彰 受賞

東広島市 ミツ城わくわく広場

(1) 教室の概要

実施場所	開始年度	開催日		年間開催日数
ミツ城コミュニティハウス 小学校の特別教室等	平成19年度	毎週木曜日 行事（土曜日）	15:00~17:00 10:00~12:00	50回
参加対象者	登録人数	平均参加人数	コーディネーター数	登録スタッフ数
小学校2年生~6年生 行事は1年生~6年生	482人	110人	1人	159人

学校との連携方法や工夫しているところ

- 毎月、活動内容を示した教室だよりを発行し、情報を提供している。
- 活動のある木曜日には、生涯学習担当教諭が給食放送の際に放送をしてくれている。
- ふれあい参観日等、学校行事へのスタッフ、地域の指導者、大学生等が参加。
- 教室で活躍している地域の人を学校の授業等への協力要請を行っている。
- 学校と教室が相互にいろいろな面で利用及び活用を行っている。
- 年間行事等、早めに連携をとって情報提供や情報収集を行っている。

東広島市の連携の取組

- 生涯学習担当者会を開催し、説明。
- 校内に生涯学習担当教員を配置している。



(2) 東広島市立ミツ城小学校

ミツ城小学校教職員を対象に「ミツ城わくわく広場」に対する意識調査に関するアンケート **別紙3** を実施 (平成27年12月 36名から回答)

● 学校の基本情報（平成27年5月1日現在） ●

学 年	学級数	児童数	果費負担教職員数（本務者）	
1年	4	128	校長	1
2年	5	141	教頭	1
3年	4	142	主幹教諭	1
4年	4	145	教諭	40
5年	4	145	養護教諭	2
6年	4	135	事務職員	2
特別支援学級	5	21		
合 計	30	857	合 計	47

尾道市 長江放課後子ども教室

(1) 教室の概要

実施場所	開始年度	開催日		年間開催日数
長江小学校の余裕教室	平成19年度	月～金曜日 夏休みなどの休業日	14:00～16:30 9:00～12:00	207回
参加対象者	登録人数	平均参加人数	コーディネーター数	登録スタッフ数
小学校1年生～6年生	86人	40人	1人	11人

学校との連携方法や工夫しているところ

- 毎月、活動状況を報告するため、教室便りを発行して情報提供を行っている。
- スタッフリーダーが中心となって、学校と常に連携をとって情報交換をしている。
- 毎月、活動計画について相談を行うとともに理解を得ている。
- 人事異動があっても学校の体制が変わることなく、協力と連携ができています。
- 年2回の実行委員会の開催などを通して、活動に対しての教職員の理解や意識統一が図られるとともに、職員の参加体制が整っている。

尾道市の連携の取組

- 運営委員会を年度当初に1回、各教室の運営委員会を年2回開催。
- 学校・地域連携コーディネーターが各教室の活動状況を把握し、横の連携を常に行っている。

(2) 尾道市立長江小学校

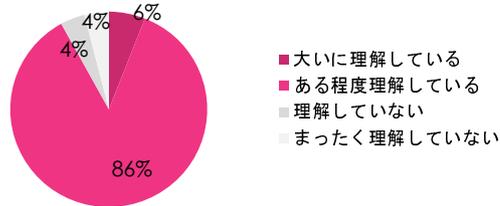
長江小学校教職員を対象に「長江放課後子供教室」に対する意識調査に関するアンケート **別紙4** を実施 (平成27年12月24日 14名から回答)

●学校の基本情報（平成27年5月1日現在）●

学 年	学級数	児童数	県費負担教職員数（本務者）	
1年	1	14	校長	1
2年	1	18	教頭	1
3年	1	23	主幹教諭	
4年	1	17	教諭	10
5年	1	22	養護教諭	1
6年	1	19	事務職員	1
特別支援学級	2	11		
合 計	8	124	合 計	14

教職員の意識調査 アンケート結果

Q 1 放課後子供教室の活動内容は理解されていますか？

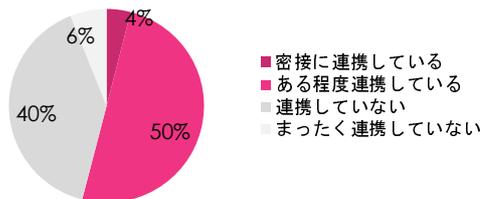


<自由記述欄>

- ◆ 子供たちが活動参加後、楽しそうに話してくれたり、話を聞く機会がある。
- ◆ お便りの配布等で活動内容を知ることができる。
- ◆ コーディネーターさんやスタッフの方と情報交換したり、見学をしている。
- ◆ 普段家庭ではなかなかできない活動（お茶作法や折り紙、料理等）をすることと思っている。
- ◆ 時間がある時など、子ども教室へ行って一緒に遊ばせていただいている。

- 9割以上の教職員が、放課後子供教室について理解するとともに、活動内容について把握して、日頃、子供からよく話を聞いている様子がわかった。
- 一方、理解していない教職員の理由としてあげられるのは、全体の場での説明等が十分に行われていないことが原因として考えられる。

Q 2 放課後子供教室のスタッフや子供と連携されていますか？

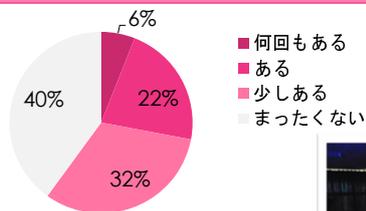


<自由記述欄>

- ◆ スタッフから子供の様子を聞いたり、活動で作った子供の作品を見に行ったり、活動内容を子供から聞いたりしている。
- ◆ 子供に対する特別な支援等、共通理解を図っている。
- ◆ 面談・電話により子供の様子や交流の業務連絡を行っている。
- ◆ 子供たちの様子を直接、子ども教室へ見に行ったり、指導員さんと話している。
- ◆ 何か問題があったときや、イベントがあったときなど話をして連携している。

- 学校によって違いはあるが、地域等の連携にあたるのは、主に管理職や主任が中心に窓口となって連携されている学校が多いところ、5割以上の教職員が、連携していると答えている。
- 連携していないと答えた教職員は、していないのではなく、十分に行えていないため、できていないと感じているのではないかと考えられる。

Q3 放課後子供教室の活動に参加又は見学されたことはありますか？



<自由記述欄>

- ◆ 児童発表で子供の成果を見るのを楽しみにしている。
- ◆ 子供（特に気になる子）の様子を見に行く。
- ◆ 子供に誘われたため、季節行事の活動に参加した。
- ◆ 子供の様子を知り、連携を指導に役立てたいので。
- ◆ 子供が問題をおこして話を聞いたあと、少し一緒に活動したり、その様子を見たりした。

- 文部科学省委託調査「放課後子どもプラン実施状況調査報告書」において、全国平均では、見学に行っている教職員は半数にも満たないが、連携がうまくいっているところでは、6割以上の教職員が子供たちの活動を見学等されている。
- 活動に参加できない主な理由として、担任クラスに参加児童がいなかったり、日々の業務の多忙や活動日が職員研修等に充てられているため、参加が難しい状況にもある。

Q4 放課後子供教室の活動について、どんなことが有効だと思いますか？



Q5 放課後子供教室に期待することは何ですか？



＜その他、教職員の意見等＞

- 縦割り活動、異年齢交流などで、児童は多くを学んでいる。
 - 放課後子供教室で調理や茶道など様々な体験ができ、子供たちは充実した時間を過ごしている。
 - 活動が楽しく行えるように工夫されており、これからも連携をしていきたい。
 - 子供たちの居場所があることに感謝している。
 - 子供たちのために、あたたかい居場所を準備していただき感謝している。これからも協力して一緒に子供を育ていきたい。
 - 地域の方が大変よく関わっていただき、感謝している。
 - 各行事の企画、運営のおかげで、子供たちが楽しめていることは良いこと。引き続きお願いしたい。
 - 子供たちはとても楽しく貴重な体験をしている。指導して下さる地域の方々に感謝している。
- 学校教育以外の放課後子供教室で実施されている活動に、感謝している教職員が多数いる。
- 子供と関わる多様な人材や学習集団、体験活動を含む学習時間や場所の提供など、放課後子供教室の活動に理解が示されている。
- 放課後子供教室の活動が、創意工夫に富んだ多様なプログラム活動であり、その充実度が伺える。

6 課題と今後の方向性

(1) 見えてきた課題

- ◆ 市町・教室・学校によって、取組に差が見られ、好事例の普及、人材育成等、行政による支援が必要である。
- ◆ 多様な活動プログラムの提供は充実しているが、現状は、それぞれの活動ごとにコーディネートがなされ、必ずしもプログラムとして個々の活動の横の連携が十分でない。
- ◆ 活動に十分な理解を示す一方で、コーディネート機能の大部分が特定の個人に依存し、結果として持続可能な体制がとられていない。

(2) 今後の方向性

- 放課後子供教室における企画運営会議等の機能を生かして、学校支援や地域活性化のための活動を展開し、学校と協働しながら自らの役割を担っていく持続可能な仕組みづくりを推進する。
- 地域による学校への理解や協力が進み、学校もまた課題解決に向けた取組を行う中、それぞれの特性を生かした多様なプログラムを充実させる。
- 放課後子供教室と学校の連携を通じて、地域が学校の教育活動を支援するだけでなく、地域と学校がパートナーとして、地域振興について学校とともに教育活動の推進を図っていく必要がある。

7 参考資料・引用文献等

- 中央教育審議会生涯学習部会「子供たちの豊かな学びのための放課後・土曜日の教育環境づくり～"あったらいいな"を実現する夢の教育～」平成26年6月
- 文部科学省 地域・学校支援推進室 平成28年度「学校を核とした地域力強化プラン」概算要求に係るブロック説明会資料 平成27年9月
- 文部科学省「次世代の学校・地域」創生プラン～学校と地域の一体改革による地域創生プラン～ 平成28年1月25日
- 文部科学省・厚生労働省HP「学校と地域でつくる学びの未来」
- 東広島市立三ツ城小学校HP
- 尾道市立長江小学校HP
- 広島県教育委員会HP「公立学校基本数」
- 広島県教育委員会生涯学習課「H27（H26実績）放課後子供教室市町別実施状況の内訳書」
- 公益財団法人さわやか福祉財団「子供の主体的な遊びにより人間力を育てるための調査研究事業報告書」 2011年3月
- 広島県立生涯学習センター柳川明美 平成26年度研究成果報告書「放課後子供教室における連携の充実に向けて」

平成27年度 市町別放課後子供教室と「学校との連携について」ヒアリング状況一覧

市町名	文科省 事業実施 の有無	担当課・室等	H27 教室数	主な活動場所		学校との連絡調整				行動計画 の 策定	運 営 状 況									
				学校	公民館等	市町	コーディ ネーター	スタッフ等	その他		設置 要綱	主体	活動プログラムの計画等				活動プログラムの実施			
													市町	コーディ ネーター	スタッフ等	その他	市町	コーディ ネーター	スタッフ等	その他
1 広島市	無	青少年育成部 育成課	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 呉市	有	文化スポーツ部 文化振興課	2	2	—	○	○			△	○	市		○				○	○	
3 竹原市	無	まちづくり推進課 文化生涯学習室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 三原市	有	教育委員会 生涯学習課	22	22	—	○	○			●	○	市		○				○	○	
5 尾道市	有	教育委員会 生涯学習課	12	9	3	○	○	○		○	○	市		○	○			○	○	
6 福山市	有	市民局まちづくり推進部 生涯学習課	39	36	3			○	○		○	市		○	○			○	○	
7 府中市	有	教育委員会 生涯学習課	4	2	2	○		○		●	○	市	○		○		○		○	
8 三次市	有	子育て・女性支援部 子育て支援課	5	3	2					●		委託								
9 庄原市	有	教育委員会 生涯学習課	8	5	3			○	○	○		委託			○				○	
10 大竹市	有	教育委員会 生涯学習課	3	1	2	○	○			●		委託	○	○					○	○
11 東広島市	有	教育委員会 青少年育成課	32	12	20	○	○			○	○	一部 委託		○	○			○	○	
12 廿日市市	単市	教育委員会 生涯学習課	4	3	1	○	○				○	市		○	○			○	○	
13 安芸高田市	有	教育委員会 生涯学習課	1	—	1	○	○			○		委託		○	○			○	○	
14 江田島市	無	教育委員会 生涯学習課	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15 府中町	有	教育委員会 社会教育課	5	5	—	○	○			○	○	町	○	○				○	○	
16 海田町	有	教育委員会 生涯学習課	2	—	2	○				●	○	町		○	○			○	○	
17 熊野町	有	教育委員会 生涯学習課	2	—	2	○				●		町	○				○	○	○	
18 坂町	有	教育委員会 生涯学習課	3	3	—	○				△		町	○				○		○	
19 安芸太田町	有	教育委員会 生涯学習課	4	4	—	○	○	○		○		町	○	○			○	○	○	
20 北広島町	有	教育委員会 生涯学習課	4	1	3	○				●	○	一部 委託								
21 大崎上島町	有	教育委員会 社会教育課	3	3	—	○	○			●	○	町	○	○				○	○	
22 世羅町	有	教育委員会 社会教育課	2	—	2	○				●		町	○				○			
23 神石高原町	有	教育委員会 生涯学習課	6	—	6	○	○		○	○		町		○		○		○		○
計	19		163																	

※次世代育成支援対策推進法に基づく市町村行動計画策定状況が、策定済の場合は○、別計画で策定済の場合は●、平成27年度中に行動計画又は別計画を策定予定の場合は△

別紙1

あなたの放課後子供教室と学校との連携に関するアンケート 【御協力をお願い】

皆様には、日頃から放課後子供教室に御理解、御協力いただき厚くお礼を申し上げます。当センターでは、放課後子供教室の更なる充実を図ることを目指し、放課後子供教室スタッフを対象に「学校との連携」等を把握するため、本アンケートを行います。

なお、御回答いただいた調査内容は、当センターにおける調査研究資料として利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、アンケートの趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

広島県立生涯学習センター 専門員 毛利洋子



所 属	
名 前	

あなたの放課後子供教室と学校との関わりについて、あてはまるもの
全てに○をしてください。
また、そのほか具体的な内容がありましたら括弧内にお書きください。

問 1 学校との関わりの現状はどのようなものですか？

- 1 協力を得ている
- 2 放課後等に教職員とのあいさつ
- 3 子供の様子の相談や問題を抱えている子供に関して、学校の先生と話し合っている
- 4 活動プログラム作成時のチェック
- 5 教室便り等のチェック
- 6 学校行事へのスタッフの参加（学習発表会（〇〇小祭等）、運動会・・・）
- 7 月（又は、学期）に1度会議を行い、共通認識を図る
- 8 情報交換及び提供を活発に行っている

自由記述欄

問2 校長先生、その他の教職員の方々との関わりは？

- 1 校長先生（その他の教職員）は、放課後子供教室に対する理解がある
- 2 放課後子供教室の会議に校長先生（その他の教職員）に参加してもらっている

- 3 学校便りや学年便りを届けてくれる
- 4 先生とのやりとりは多く、情報交換している
- 5 施設の利用について先生とよく話す（体育館、家庭科室等利用時）
- 6 いじめの芽を発見した時はすぐに担任の先生に報告する
- 7 スタッフが多面的に子供を観察し、その事実を担任に報告する
- 8 トラブルだけではなく、良いことも担任に報告するようにしている
- 9 子供を早く学校から出したいと考える教職員もいる

自由記述欄

問3 学校から期待されていると感じることはありますか、それはどんなことですか？

- 1 学校に信頼されて任せられている
- 2 先生から感謝のことばを言われる
- 3 規則正しい生活習慣（あいさつ・宿題仕上げ等）
- 4 異年齢交流
- 5 様々な活動プログラム
- 6 子供のトラブルに対して学校が積極的にサポートしてくれている
- 7 子供の人間関係などの情報提供がある
- 8 子供の報告をした時に好意的に受け取ってくれるようになり、連携が図りやすくなった

自由記述欄

問4 学校に期待することは何ですか？

- 1 安心・安全な環境づくり
- 2 放課後子供教室の理解
- 3 情報の提供

自由記述欄



問5 放課後子供教室に対する御意見をお聞かせください。

自由記述欄

ありがとうございました。

三ツ城わくわく広場に対する意識調査に関するアンケート 【御協力をお願い】

教職員の皆様には、日頃から放課後子供教室に御理解、御協力いただき厚くお礼を申し上げます。当センターでは、放課後子供教室をより一層支援していくために、三ツ城小学校の教職員の皆様を対象に「三ツ城わくわく広場に対する意識調査に関するアンケート」を行います。

なお、御回答いただいた調査内容は、当センターにおける調査研究資料として利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、御多忙のこととは存じますが、アンケートの趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

広島県立生涯学習センター 専門員 毛利洋子



回答期限	平成27年11月30日(月)
提出先	教頭先生まで

三ツ城わくわく広場に対する感想等について、あてはまるものに○をしてください。(複数回答可)
また、その具体的な理由等がありましたら括弧内にお書きください。

問1 三ツ城わくわく広場の活動内容は理解されていますか？

- 1 大いに理解している
- 2 ある程度理解している
- 3 理解していない
- 4 まったく理解していない



その理由は

問2 三ツ城わくわく広場のスタッフや子供と連携されていますか？

- 1 密接に連携している
- 2 ある程度連携している
- 3 連携していない
- 4 まったく連携していない

その理由と、連携されている場合はその内容と方法

裏面もお願いします。

問3 三ツ城わくわく広場の活動に参加又は見学されたことはありますか？

- 1 何回もある 2 ある 3 少しある 4 まったくない

その理由

問4 三ツ城わくわく広場の活動について、どんなことが有効だと思いますか？

- 1 放課後に安心・安全な場所で遊んだり，学んだりできる
- 2 子供たちが異年齢の友達と遊んだり，学んだりできる
- 3 子供たちが地域の大人との関わりを持ちながら活動できる
- 4 専門的な指導者による質の高いプログラムが提供できる
- 5 地域の大人同士が関わりを持てる
- 6 有効だとは思わない



その他具体的に

問5 三ツ城わくわく広場に期待することは何ですか？

- 1 平日の放課後子供教室や児童クラブとの連携を深め地域で子供を育てる環境づくり
- 2 学校やコーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- 3 体験学習から地域の魅力を再発見できる「生きる力」を育てる教室の開催
- 4 教室スタッフによる出前授業等の開催
- 5 特にない

その他具体的に

問6 放課後子供教室に対する御意見やご要望をお聞かせください。

自由記述欄



長江放課後子ども教室に対する意識調査に関するアンケート 【御協力をお願い】

教職員の皆様には、日頃から放課後子供教室に御理解、御協力いただき厚くお礼を申し上げます。当センターでは、放課後子供教室をより一層支援していくために、長江小学校の教職員の皆様を対象に「長江放課後子ども教室に対する意識調査に関するアンケート」を行います。

なお、御回答いただいた調査内容は、当センターにおける調査研究資料として利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、御多忙のこととは存じますが、アンケートの趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

広島県立生涯学習センター 専門員 毛利洋子



回答期限	平成 27 年 12 月 10 日 (木)
提出先	教頭先生まで

長江放課後子ども教室に対する感想等について、あてはまるものに○をしてください。(複数回答可)
また、その具体的な理由等がありましたら括弧内にお書きください。

問 1 長江放課後子ども教室の活動内容は理解されていますか？

- 1 大いに理解している
- 2 ある程度理解している
- 3 理解していない
- 4 まったく理解していない

その理由は



問2 長江放課後子ども教室のスタッフや子供と連携されていますか？

- 1 密接に連携している
- 2 ある程度連携している
- 3 連携していない
- 4 まったく連携していない

その理由と、連携されている場合はその内容と方法

裏面もお願いします。

問3 長江放課後子ども教室の活動に参加又は見学されたことはありますか？

- 1 何回もある 2 ある 3 少しある 4 まったくない

その理由

問4 長江放課後子ども教室の活動について、どんなことが有効だと思いますか？

- 1 放課後に安心・安全な場所で遊んだり，学んだりできる
- 2 子供たちが異年齢の友達と遊んだり，学んだりできる
- 3 子供たちが地域の大人との関わりを持ちながら活動できる
- 4 専門的な指導者による質の高いプログラムが提供できる
- 5 地域の大人同士が関わりを持てる
- 6 有効だとは思わない



その他具体的に

問5 長江放課後子ども教室に期待することは何ですか？

- 1 平日の放課後子供教室や児童クラブとの連携を深め地域で子供を育てる環境づくり
- 2 学校やコーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- 3 体験学習から地域の魅力を再発見できる「生きる力」を育てる教室の開催
- 4 教室スタッフによる出前授業等の開催
- 5 特にない

その他具体的に

問6 放課後子供教室に対する御意見やご要望をお聞かせください。

自由記述欄



平成 27 年度 研究成果報告書

平成 28 年 3 月発行

広島県立生涯学習センター

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7 番 47 号

TEL 082-248-8848

FAX 082-248-8840

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/>

E-mail:sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp